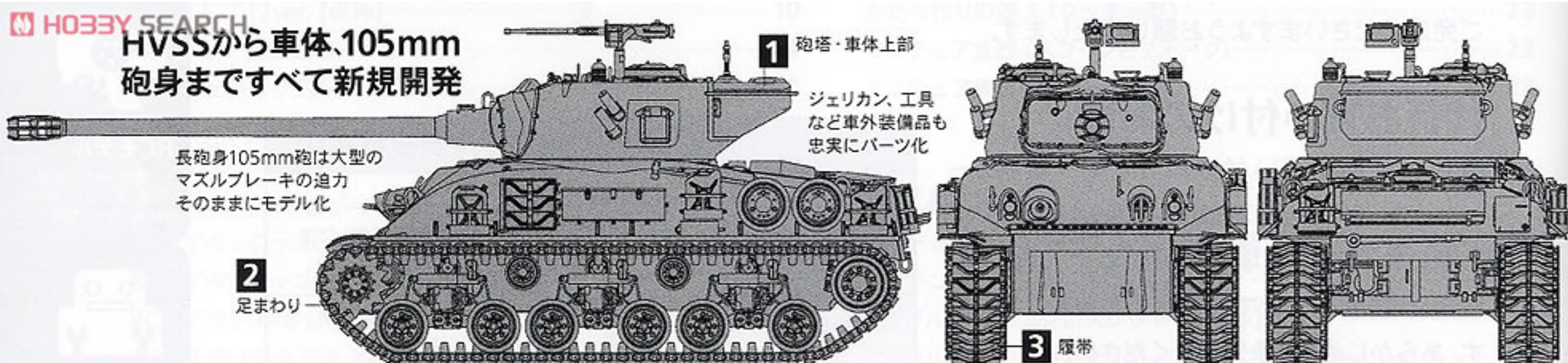
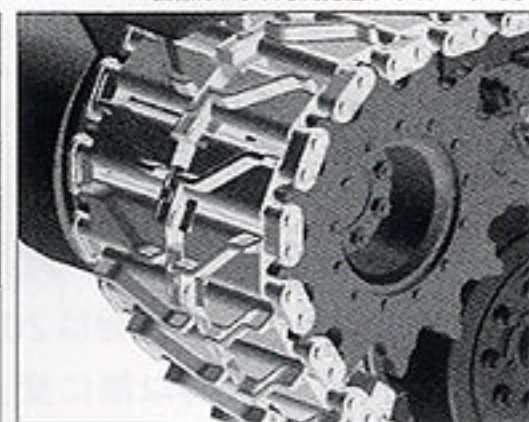
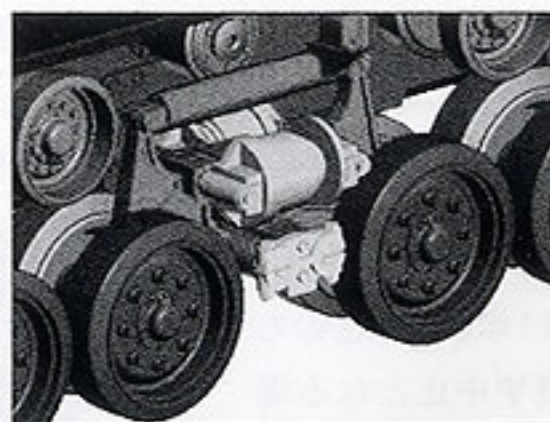




List All Images [Share](#) [Tweet](#)



【キット説明】シャーマン戦車の集大成といわれたM51スーパーシャーマンが1/35MMシリーズに加わります。★全長257mm、全幅86mm、イスラエル・ラトゥルン戦車博物館での綿密な実車取材に基づいて、武骨なマズルブレーキを装備した長大な主砲など迫力あふれる姿を余すことなくモデル化。★曲面を主体とした鋳造製の車体上部は、後部を延長した鋳造砲塔とともに複雑なフォルムを実感豊かに再現。★車体下部やHVSSの足まわりも新規パーツで立体感十分。★履帯は幅の広いT80と呼ばれるタイプを再現。手軽でリアルなベルト式を採用しました。★人形は砲塔ハッチに納まるコマンドーとローダーの半身像2体をセット。★第三次中東戦争の参加車輛などデカール3種類を予定。



※画像はいずれも開発途中のイメージです。













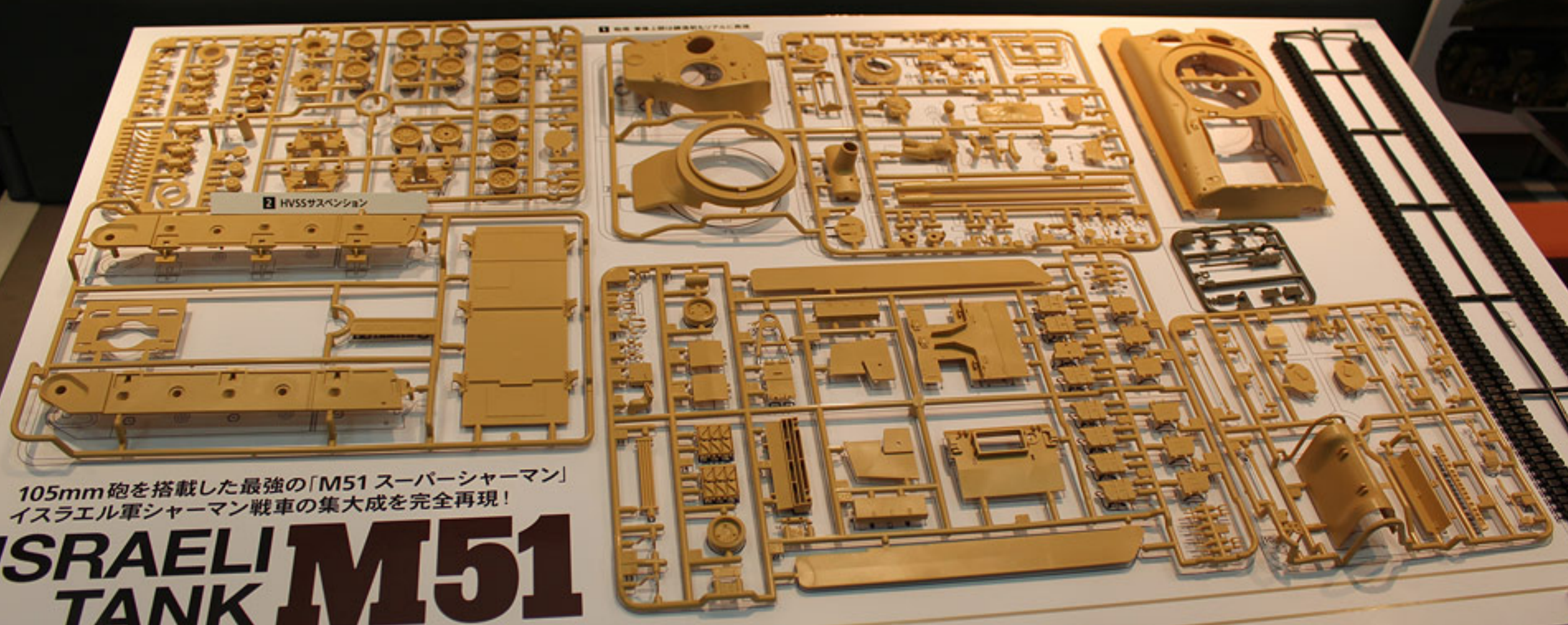












HVSSサスペンション

105mm 砲を搭載した最強の「M51 スーパーシャーマン」  
イスラエル軍シャーマン戦車の集大成を完全再現!

# ISRAELI TANK M51



① 810236-Y

② 813093-Y

③ 812235-U

④ 810236-Y

④ 810236-Y

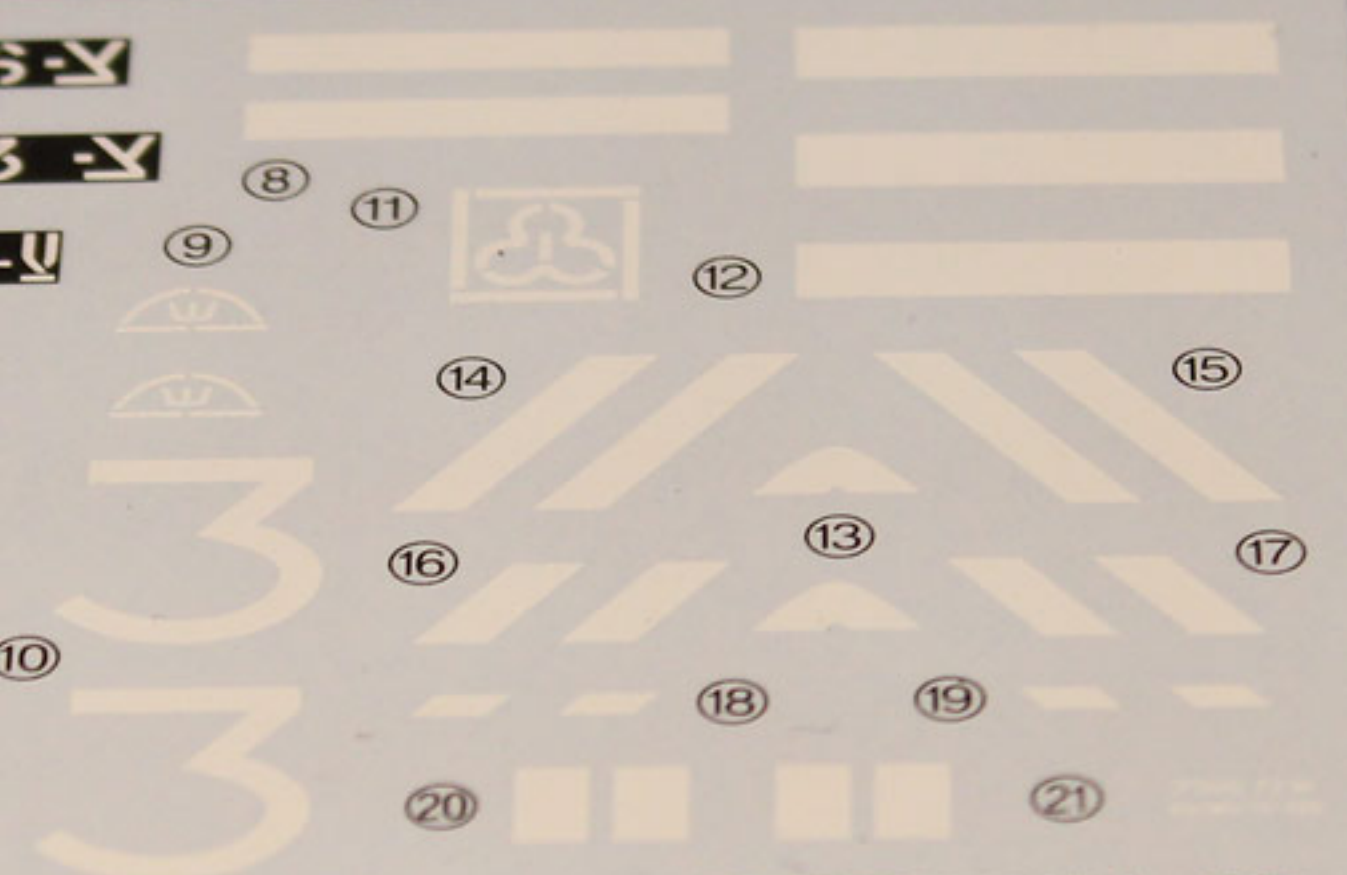
⑤ 813093-Y

⑤ 813093-Y

⑥ 812235-U

⑥ 812235-U

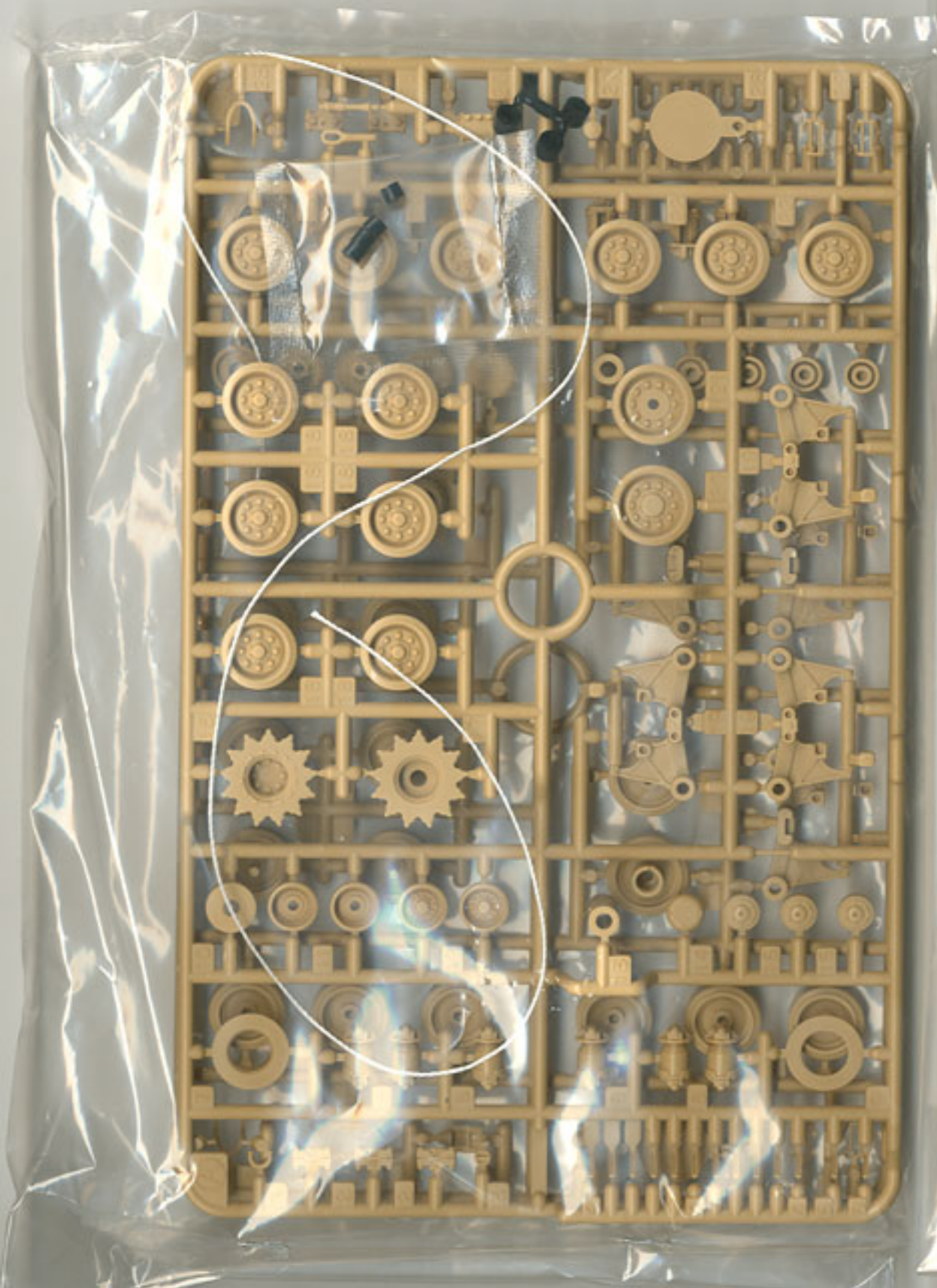
⑦ 8119-Y



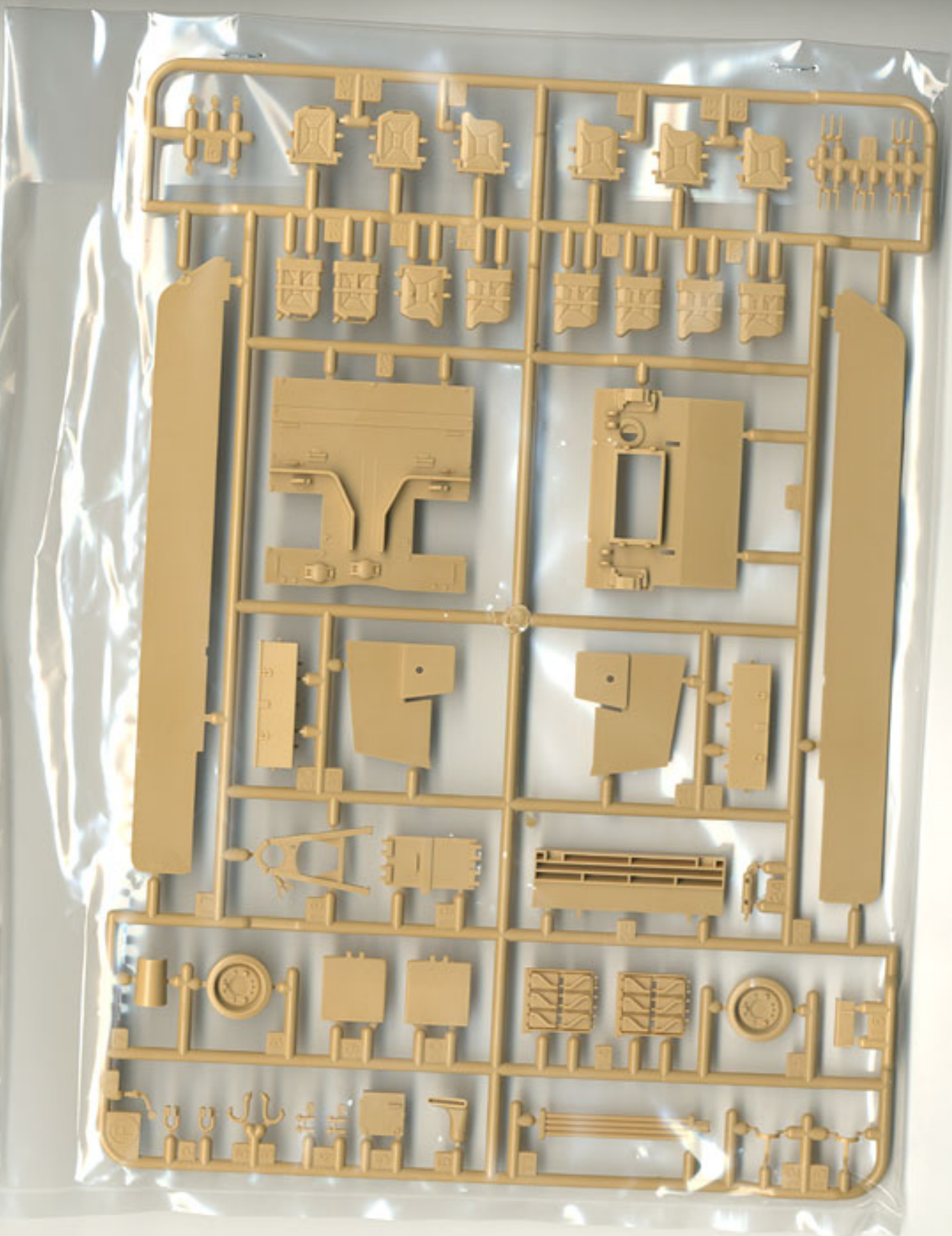
1/35 ISRAELI TANK M51 (35323) 11403462

TAMIYA, INC. ©2011 TAMIYA

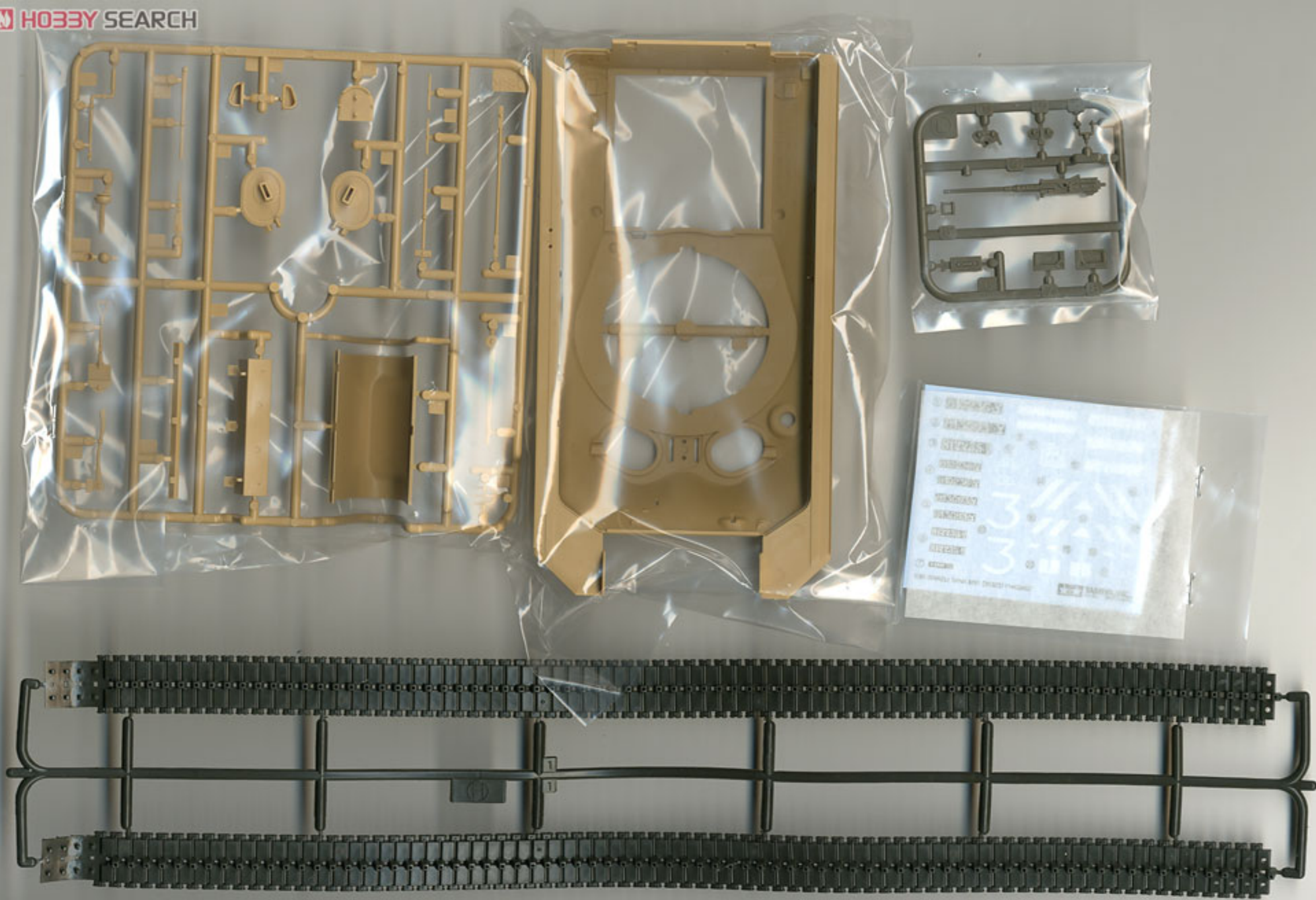












## HOBBY SEARCH

《M51スーパーシャーマンについて》M1およびM50シャーマンに続くイスラエル機甲部隊の中核として、1962年に登場したのがM51です。その多くは鋳造車体のM4A1シャーマンをベースとし、鋳造砲塔に長砲身105mm砲を搭載。大型の主砲を収めるために砲塔後部が延長されています。エンジンは460馬力のディーゼルエンジンに換装され、HVSS（水平式懸架）と幅の広い履帯により優れた機動力を発揮しました。1967年の第三次中東戦争で初陣を飾り、絶大な攻撃力を活かしてエジプト機甲部隊を圧倒。数多いM4シャーマンの派生型で最強を誇ったM51は、シャーマン戦車の集大成として歴史に名を刻んでいるのです。

《模型要目》1/35スケールのプラスチックモデル組み立てキットです。  
 ★全長257mm、全幅86mm。イスラエルでの綿密な実車取材に基づいて、力強い姿を余すことなくモデル化。  
 ★鋳造製の車体上部や後部を延長した鋳造砲塔は、複雑なフォルムを実感豊かに再現。  
 ★HVSSの足まわりも少ないパーツで立体感十分。  
 ★履帯は幅の広いT80と呼ばれるタイプを再現。手軽でリアルなベルト式でパーツ化。  
 ★コマンドーとローダーの半身像2体、第三次中東戦争などのデカール3種類付き。



19世紀以降、パレスチナへの入植を進めていたユダヤ人は、1948年5月14日、イスラエルの建国を宣言しました。しかし翌日にはエジプト、ヨルダン、イラク、サウジアラビアがイスラエルへの攻撃を開始し、第一次中東戦争が勃発したのです。アラブ側は兵力こそ優勢でしたが、ユダヤ人の資金力、そして第二次世界大戦に参戦した人材を多数擁していたことは、イスラエルの優位な点でした。その後、6月に4週間の停戦となりましたが、この時間を利用してイスラエル軍は戦備を整えました。そして停戦終了とともに攻勢に出てアラブ軍を打ち破ったのです。その結果1949年2月24日、休戦が成立し第一次中東戦争は終結しました。

独立宣言の12日後にイスラエル国防軍が設立されました。当初は装甲車輛を保有していませんでしたが、第一次中東戦争中に各種装備類がかき集められ、その中には戦車も含まれていたのです。当時は正規に武器を調達できる状況ではなく、入手のためにはあらゆる手段が取られました。

#### イスラエル軍の主力となったM4シャーマン

第一次中東戦争中、そして戦後もイスラエル軍による戦車調達の努力が続けられました。その過程で主力戦車として装備化が進められることになったのがM4シャーマン戦車です。M4シャーマンは第二次大戦中期にアメリカ軍が実用化した中戦車で、当初は75mm砲を備え、バランスのとれた防御力に高い機動力を備えていました。また短時間で大量生産が実行されたため、車体、エンジンなどに多数のバリエーションが存在することでも知られています。例えばM4A1は鋳造車体に空冷星型エンジンを、M4A3は溶接車体に水冷V8エンジンを搭載。そして特筆すべきは、アメリカの高い自動車産業技術を背景に、卓越した機械的信頼性を有し、部品の互換性にも優れていたのです。

しかし、M4シャーマン系列がイスラエル軍の主力戦車となった最大の理由は、第二次大戦中、実に約5万輛も量産されたポピュラーな戦車であることでした。つまり戦後世界には、余剰となったM4シャーマンがあふれかえっていたわけです。このことは、特殊な国際環境の下で戦車の調達手段に限られるイスラエルでも、車体、部品を比較的容易に入手できることを意味していました。

特にフランスはイスラエルへのシャーマンの最大の供給国となりました。エジプトの政変をきっかけにイスラエルに接近したフランスは、保有していたM4シャーマンの売却に同意。1950年代半ばまでに、イスラエルは76mm戦車砲M1A1/A2を装備したM4A1とM4A3を合計約250輛入手することができました。これらは搭載砲の名称にちなん

でM1スーパーシャーマンと呼ばれたのです。M1スーパーシャーマンは1956年10月に勃発した第二次中東戦争に投入されました。

一方、M1スーパーシャーマンの導入と並行して、イスラエル独自のシャーマン武装強化策が進展していました。それがM50シャーマンです。このM50にはフランス軍が自国の軽戦車AMX-13に搭載していた75mm戦車砲CN-75-50を採用。オリジナルの75mm砲M3よりはるかに巨大な主砲を装備するため、砲塔は前後に継ぎ足して大きく拡大されていました。M50シャーマンは1950年代中頃より180輛程度が改修され、第二次、第三次中東戦争にも参加しています。

#### M51の開発と特徴

第二次中東戦争後、雪辱を狙うアラブ側には、ソ連製のJS3やT-54/55といった、これまでにない強力な戦車が装備されるようになっていきました。性能アップがはかられたとはいえ、M50シャーマンでは手に余る相手です。当時のイスラエルは世界中から十分な新型装備を調達できる状況ではなく、既存の装備を改良して対応するしかありませんでした。こうして1960年代初め、シャーマンのさらなる武装強化が行われることになりました。M51の誕生です。改造と運用の便を考え、ベースには基本的に鋳造車体のM4A1後期型が使用されましたが、一部に溶接車体のM4A3も用いられたとされています。

新たな主砲に選ばれたのは、当時フランス軍が自国の主力戦車AMX-30用に開発していた105mm戦車砲CN-105-F1でした。105mm砲といえば、戦後第二世代の主力戦車の主砲です。攻撃力としては、なんの遜色もありませんでした。ただし、さすがにそのままでは大きすぎたため、砲身を1.5m短くし、砲口に大型のマズルブレーキを装着したD1504 L/44砲が開発されました。砲身を短縮したため砲口初速は800m/sに低下しましたが、主力弾薬が成型炸薬弾だったため、大きな影響はありませんでした。その性能は最大射程4,000mまで、360mmもの装甲板を貫徹できたのです。

M51の砲塔には、巨大なD1504砲を搭載するため、75mm砲塔よりも一回り大きな76mm砲塔（T23砲塔）が使用されました。砲耳と防盾部は新しいものとなり、大きく前方に突き出た長大な砲身とバランスをとるため、砲塔後部にはカウンターウェイト兼用の大きな張り出しが付け加えられています。走行装置は重量増加に対応して、HVSS（水平渦巻バネ式サスペンション）に幅の広いT80履帯が装備されていました。エンジンも460馬力のカミンズVT8系ディーゼルエンジンに換装されましたが、ガソリンエン



ました。ウムカテフからアブ・アゲイラにかけての激戦の後、6月8日には120kmを走破してナクールに到達したのです。パットン将軍も顔負けの電撃戦と言えるでしょう。またゴラン高原でもその働きは光りました。ゴラン高原攻略部隊は攻撃の重点を北翼に置いてクネイトラ攻略をはかったのです。M51は激戦となったヨルダン川西岸ドタン溪谷の戦いでも大きな役割を演じました。

さらに1973年の第四次中東戦争でも、M51は重要な戦力として出撃しました。M51を装備した第9旅団の第595戦車大隊は、戦争勃発とともにゴラン高原に急行、シリア軍戦車隊を迎え撃ったのです。シャーマンをたやすい相手と侮っていたシリア軍戦車隊は、大損害を被り撃退されました。

特筆すべきは、イラク軍戦車との戦いでしょう。ゴラン高原を突破してダマスカスへと近づいたイスラエル軍のラナー師団は、アラブの大義により参戦したイラク軍のT-55部隊に遭遇。イスラエル軍は4個旅団の戦車を馬蹄形に並べて「キル・ボックス」とし、イラク軍戦車を罠へ誘いました。イラク軍戦車隊は大損害を被り撃退されたのです。これら旅団の中のひとつにはM51が配備されていました。

M51は、第三次および第四次中東戦争で、イスラエル軍戦車隊の一翼を担ってまさに主力戦車として奮戦しました。しかし、さすがに第二次大戦中の車体の旧式化はいかんともしがたく、1980年代には退役し、ほとんどがチリに売却されました。これほど長きにわたってM51の使用が続けられたことは、原型であるシャーマン戦車の優秀性と、それを稼働させた戦車工業、そしてイスラエル軍将兵の高い実力を示すものでしょう。その経験は、M60パットンや捕獲したソ連戦車の改造、さらにイスラエル国産のメルカバ戦車の開発へとつながったのです。

ジンのままの車輛もあったようです。

**第三次、第四次中東戦争における戦歴**

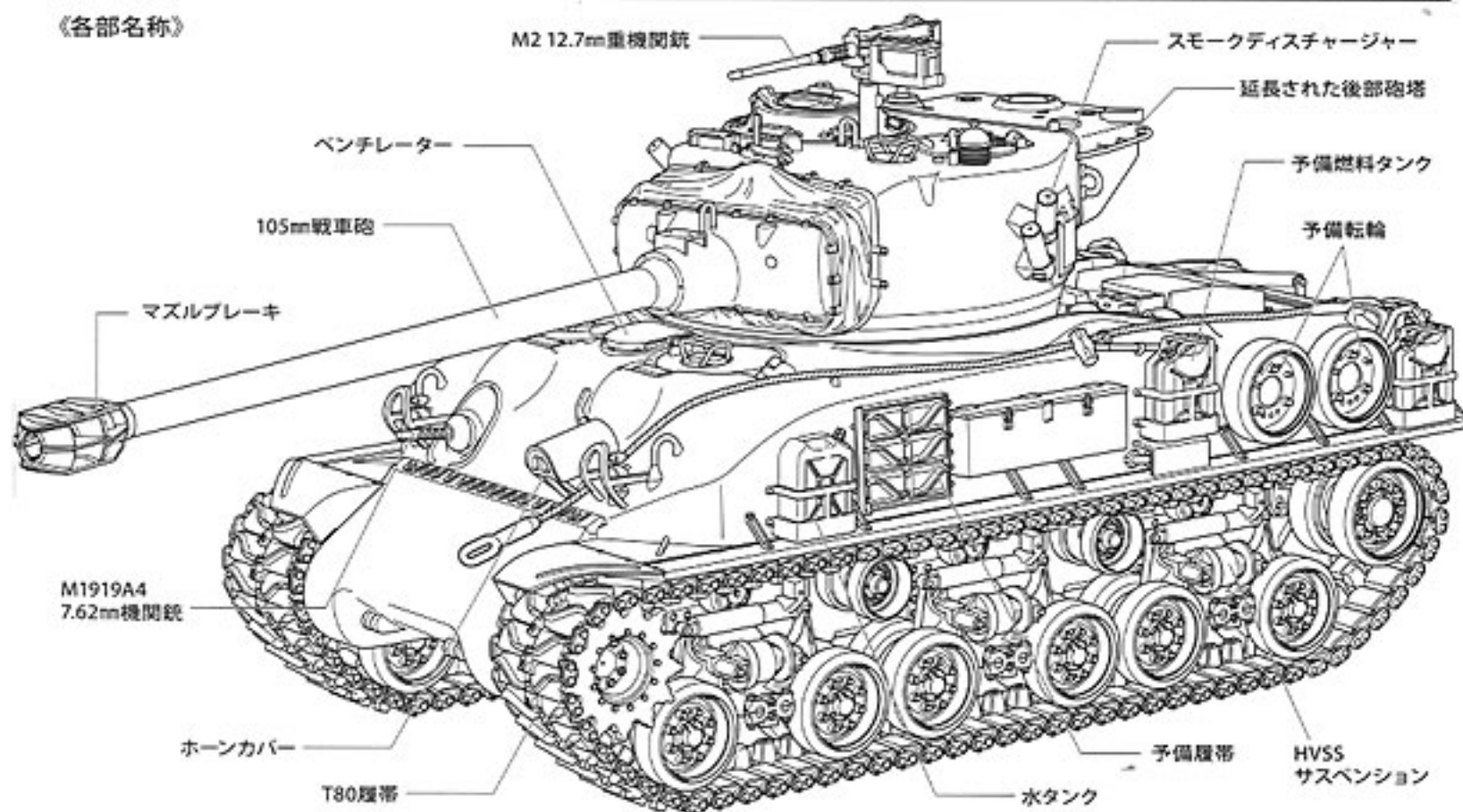
M51の改造初号車は1962年7月に引き渡され、1960年代中頃までに180輛程度が改修されたと言われています。この頃には、イスラエルにもセンチリオンやM48パットンのような強力な戦車が大量に装備されるようになっていました。しかし、1967年6月の第三次中東戦争では、M51はこれらの新鋭戦車とともに、イスラエル軍機甲師団の一翼を担い続けたのです。この戦争中、M51は主としてアビラム旅団、ジッボリ旅団、そして第10旅団の戦車大隊に配属されていました。

シナイ半島を攻撃した機甲師団の一つ、シャロン師団の中核である第14機甲旅団（ジッボリ旅団）にはM51が配属されていました。彼らは6月5日の開戦直後からエジプト第2歩兵師団の防御を粉砕し、シナイ半島を南西へと進撃し

**《M51 諸元》**

- 全長：6,198mm ●全幅：2,997mm ●全高：3,023mm
- 全備重量：39トン ●乗員：4～5名
- エンジン：カミンズVT8-460-B1 V型8気筒液冷ディーゼル
- 最大出力：460馬力 ●最大速度：45km/h
- 航続距離：270km
- 武装：105mm戦車砲 D1504 L/44×1  
12.7mm重機関銃 M2×1、7.62mm機関銃 M1919A4×2
- 装甲厚：[車体] 前面上部64mm 前面下部108～51mm  
側面/後面38mm 上面19mm 下面25～13mm  
[砲塔] 防盾89mm 前面/側面/後面64mm 上面25mm


**《各部名称》**



35323 M51 (11053538)



## PAINTS REQUIRED

 塗装指示のマークです。タミヤカラーのカラーナンバーで指示しました。

This mark denotes numbers for Tamiya Paint colors.

TS-46 ●ライトサンド / Light sand / Hell-Sandfarben / Sable clair

X-10 ●ガンメタル / Gun metal / Metall-Grau / Gris acier

X-11 ●クロームシルバー / Chrome silver / Chrom-Silber / Aluminium chromé

XF-1 ●フラットブラック / Flat black / Matt Schwarz / Noir mat

XF-7 ●フラットレッド / Flat red / Matt Rot / Rouge mat

XF-15 ●フラットフレッシュ / Flat flesh / Fleischfarben Matt / Chair mate

XF-56 ●メタリックグレイ / Metallic grey / Grau-Metallic / Gris métallisé

XF-20 ●ミディアムグレイ / Medium grey / Mittelgrau / Gris moyen

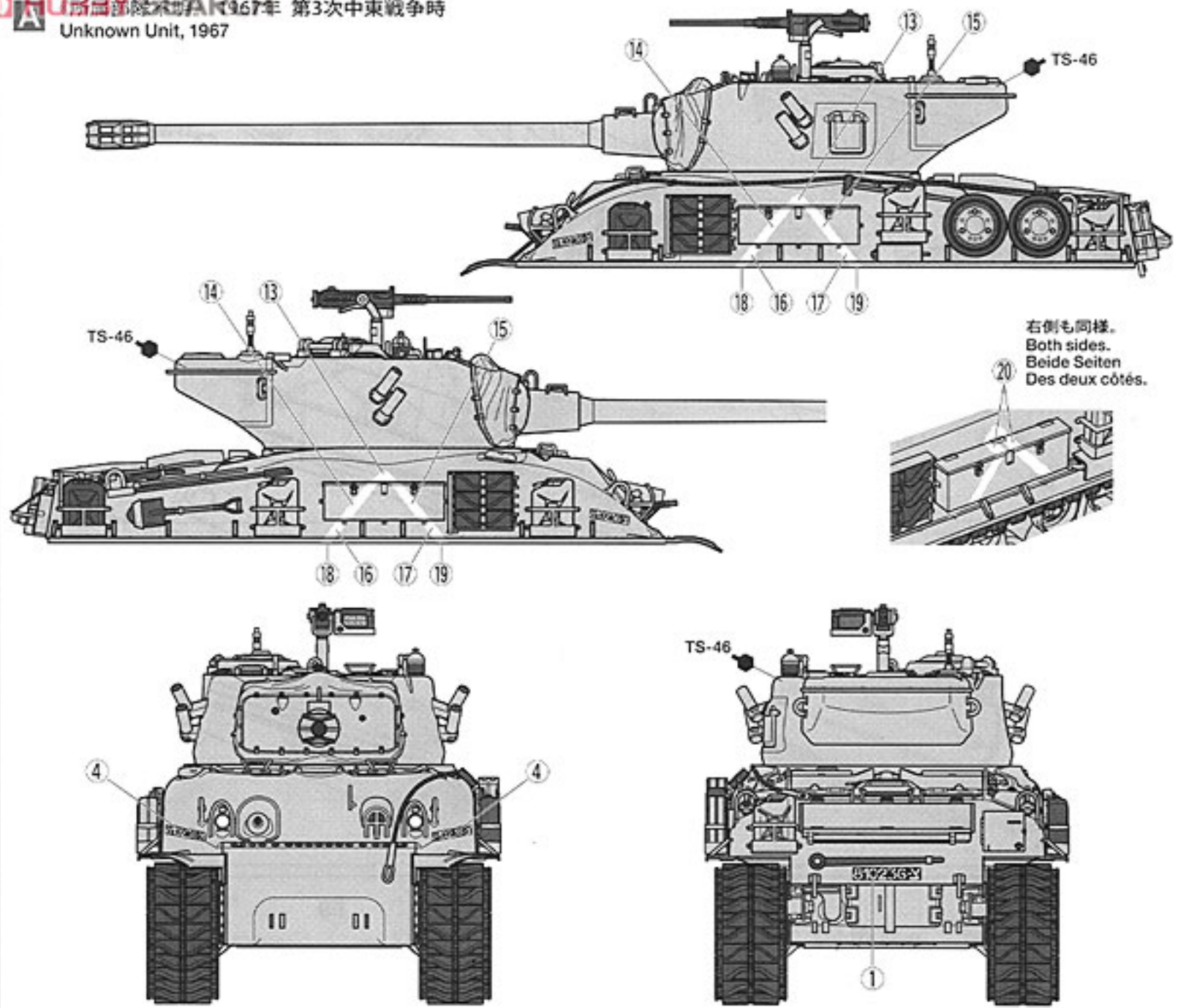
XF-57 ●バフ / Buff / Lederfarben / Chamois

XF-60 ●ダークイエロー / Dark yellow / Dunkelgelb / Jaune foncé

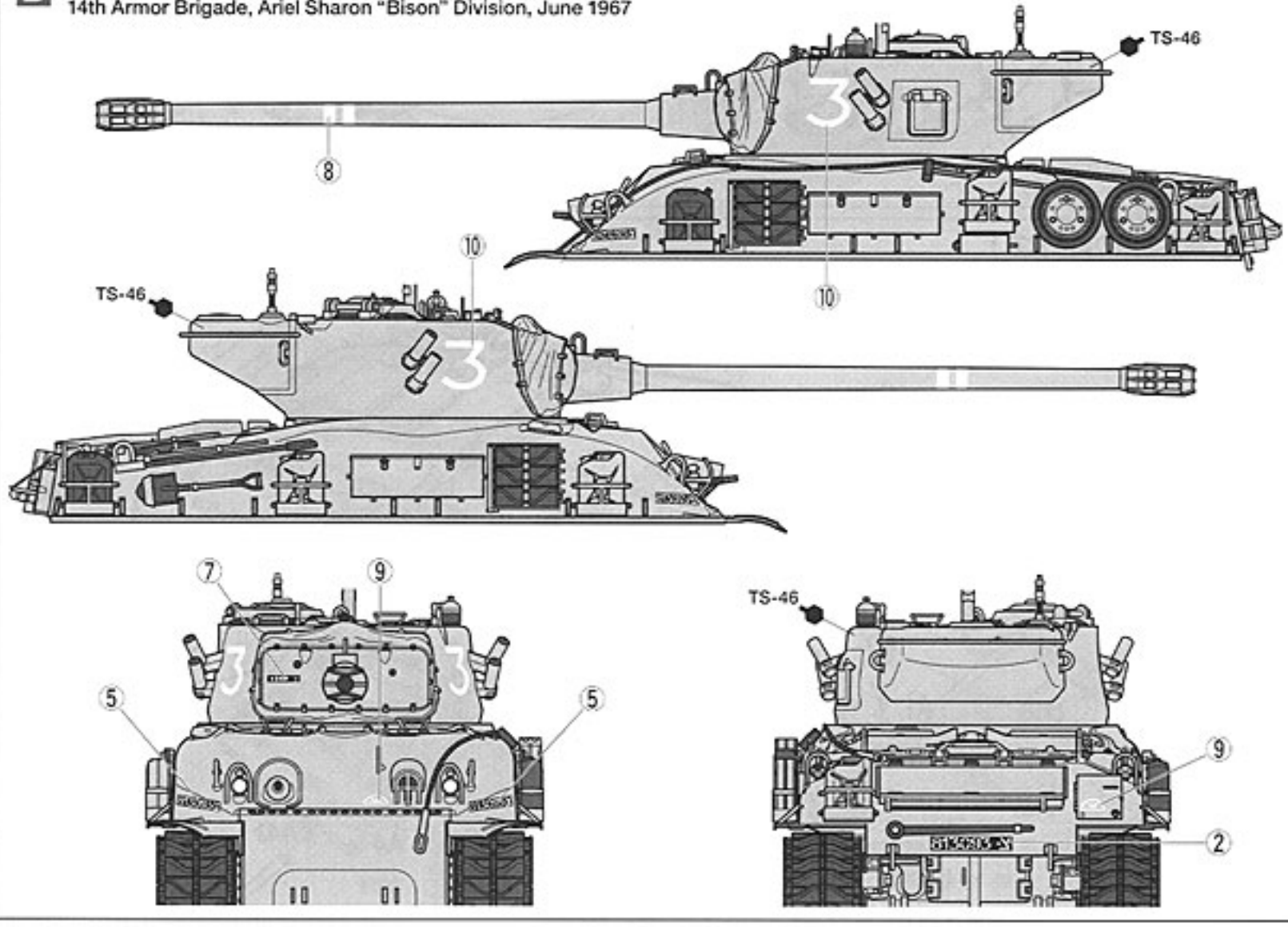
XF-62 ●オリーブドラブ / Olive drab / Braun-Oliv / Vert olive

XF-64 ●レッドブラウン / Red brown / Rotbraun / Rouge brun



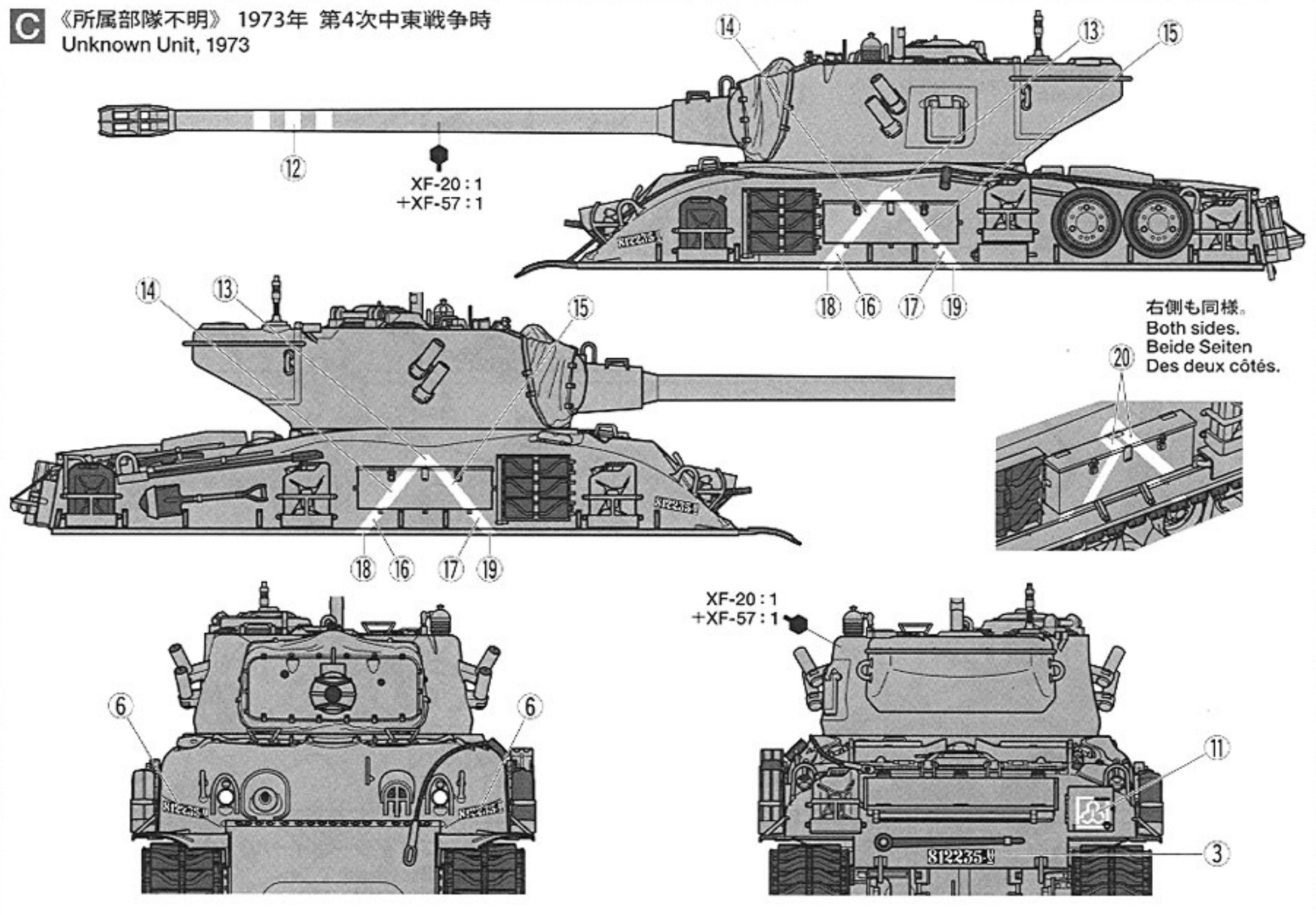


**B** 《アリエル・シャロン"バイソン"師団 第14機甲旅団 所属車輛》 1967年 6月 第三次中東戦争時  
14th Armor Brigade, Ariel Sharon "Bison" Division, June 1967





C 《所属部隊不明》 1973年 第4次中東戦争時  
Unknown Unit, 1973



## APPLYING DECALS

《スライドマークのはり方》

- ① はりたいマークをハサミで切り抜きます。
- ② マークをぬるま湯に10秒ほどひたしてからタオル等の布の上に置きます。
- ③ 台紙のはしを手で持ち、はるところにマークをスライドさせてモデルに移してください。
- ④ 指に少し水をつけてマークをぬらしながら、正しい位置にずらしします。
- ⑤ やわらかな布でマークの内側の気泡を押し出しながら、押しつけるようにして水分をとります。

### DECAL APPLICATION

- ① Cut off decal from sheet.

- ② Dip the decal in tepid water for about 10 sec. and place on a clean cloth.

- ③ Hold the backing sheet edge and slide decal onto the model.

- ④ Move decal into position by wetting decal with finger.

- ⑤ Press decal down gently with a soft cloth until excess water and air bubbles are gone.

### ANBRINGUNG DES ABZIEHBILDES

- ① Abziehbild vom Blatt ausschneiden.

- ② Das Abziehbild ungefähr 10 Sek. in lauwarmes Wasser tauchen, dann auf sauberen Stoff legen.

- ③ Die Kante der Unterlage halten und das Abziehbild auf das Modell schieben.

- ④ Das Abziehbild an die richtige Stelle schieben und dabei mit dem Finger das

Abziehbild naßmachen.

- ⑤ Das Abziehbild leicht mit einem weichen Tuch andrücken, bis überschüssiges Wasser und Luftblasen entfernt sind.

### APPLICATION DES DECALCOMANIES

- ① Découpez la décalcomanie de sa feuille.
- ② Plongez la décalcomanie dans de l'eau tiède pendant 10 secondes environ et poser sur un linge propre.

- ③ Retenez la feuille de protection par le côté et glissez la décalcomanie sur le modèle réduit.

- ④ Placez la décalcomanie à l'endroit voulu en la mouillant avec un de vos doigts.

- ⑤ Pressez doucement la décalcomanie avec un tissu doux jusqu'à ce que l'eau en excès et les bulles aient disparu.



# PAINTING

## 《M51スーパーシャーマンの塗装》

イスラエルの建国から1956年の第二次中東戦争まで、イスラエル軍のシャーマン戦車はオリーブドラブを基本としていました。1967年の第三次中東戦争では、環境に合わせて全面がサンド色に変更されていました。タミヤカラーではTS-46ライトサンドが近いといえるでしょう。また戦車戦における味方識別や部隊運用のため、車体側面には所属中隊を示すくさび形が大きく描かれていました。その後1973年の第四次中東戦争では、車体色がグレイがかったサンド色に変更されたようです。装備品など細部の塗装は組立図中にタミヤカラーの色番号で指示してあります。

### M51 Painting Guide

From Israel's declaration of independence

to the Suez Crisis in 1956, IDF Shermans were painted overall Olive Drab. This changed to overall Sand (approximated by TS-46) during the Six Day War in 1967. Unit markings were applied to the tanks' sides to aid with command and identification of friendly forces. During the Yom Kippur War in 1973, the tanks were painted in a grayish-Sand color. Refer to the instruction manual for painting the interior and detailed parts.

### M51 Lackierungsanleitung

Von der Unabhängigkeitserklärung Israels an bis zur Suez-Krise im Jahr 1956 waren die Shermans der IDF in Dunkeloliv lackiert. Das wurde während des 6-Tage Kriegs 1967 in eine sandfarbene Lackierung geändert ( etwa TS-46 ). Die Einheitskennzeichen wurden an beiden Seitender Panzer angebracht um die Führung und die

Erkennung eigener Einheiten zu vereinfachen. Während des Yom-Kippur Krieges im Jahr 1973 waren die Panzer in einer graustichigen Sandfarbe bemalt. Für die Bemalung der Innenteile und der Details bitte die Bauanleitung beachten.

### Guide Peinture du M51

De la déclaration d'indépendance d'Israël à la Crise de Suez en 1956, les Sherman des IDF étaient entièrement peints en Olive Drab. La teinte Sable (comparable au TS-46) fut employée à partir de la Guerre des Six Jours en 1967. Les marques d'unités étaient portées sur les flancs des chars pour faciliter le commandement et l'identification des unités amies. Lors de la Guerre du Yom Kippour en 1973, les chars étaient peints en Sable grisâtre. Se reporter à la notice de montage pour la mise en peinture de l'intérieur et des détails.





●組立説明図の中で塗装指示のない部品は車体色で塗装します。  
●When no color is specified, paint the item with hull color.  
●Wenn keine Farbe angegeben ist, Teile mit Wannen-Farbe bemalen.  
●Lorsqu'aucune teinte n'est spécifiée, peindre dans la couleur de la caisse.

**1** サイドパネルの組み立て  
Side panels  
Seitenpaneel  
Panneaux latéraux

不要部品…………… A4×10, A10×2, A13×2, A14×1, A25×1,  
Not used. A29×1, C37, E1, E2, E3  
Nicht verwenden.  
Non utilisées.

**2** リヤパネルの組み立て  
Rear panel  
Heckplatte  
Panneau arrière

指示の部分を切り取ります。  
Cut off.  
Wegschneiden.  
Découper.

XF-64

**3** 車体下部の組み立て  
Lower hull assembly  
Zusammenbau des Wannen-Unterteile  
Assemblage de la caisse inférieure

このマークの部品は接着しません。  
Do not cement.  
Nicht kleben.  
Ne pas coller.

**4** 《リターンローラー》 A  
Return roller  
Rücklaufrollen  
Galets de retour

★4個作ります。  
★Make 4.  
★4 Satz anfertigen.  
★Faire 4 jeux.

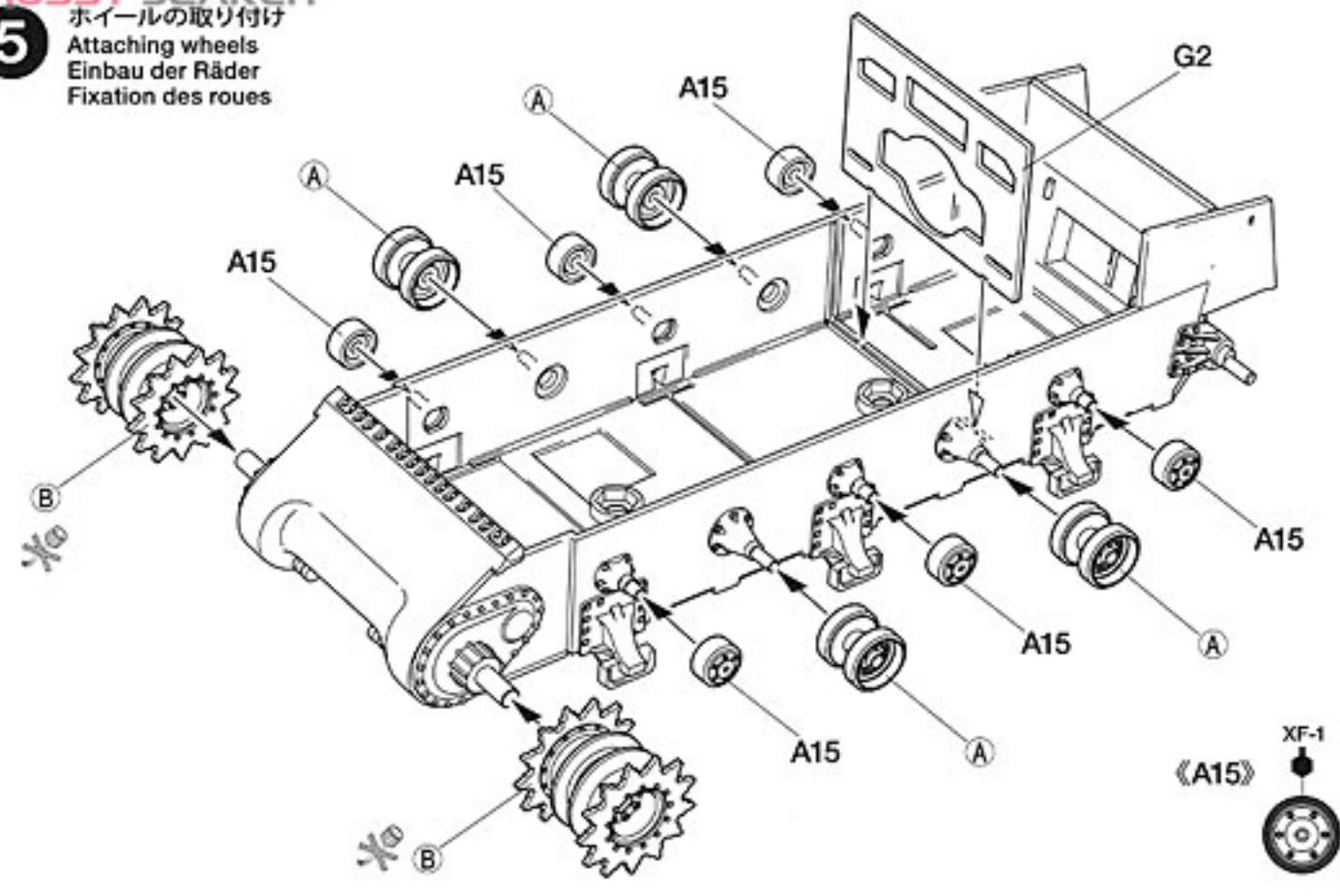
**《ドライブスプロケット》 B**  
Drive sprocket  
Kettentreibrad  
Barbotin

★2個作ります。  
★Make 2.  
★2 Satz anfertigen.  
★Faire 2 jeux.

ポリキャップ(大)  
Poly cap (large)  
Kunststoff-Nabe (groß)  
Bague nylon (grand)

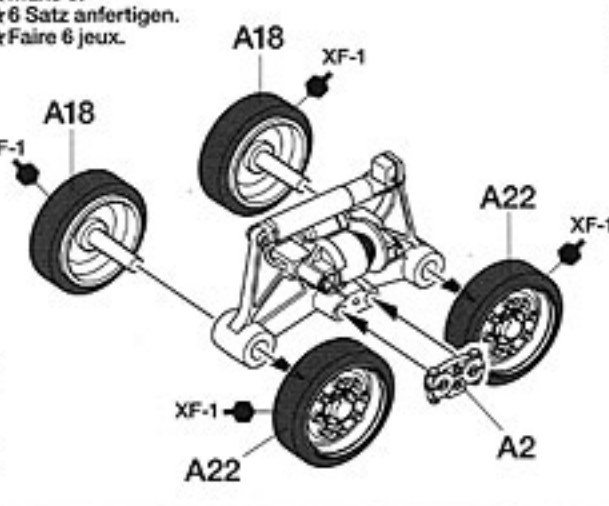
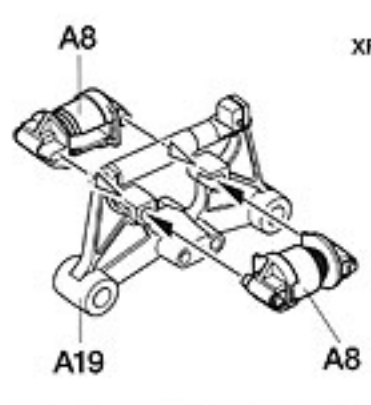


**5** ホイールの取り付け  
Attaching wheels  
Einbau der Räder  
Fixation des roues



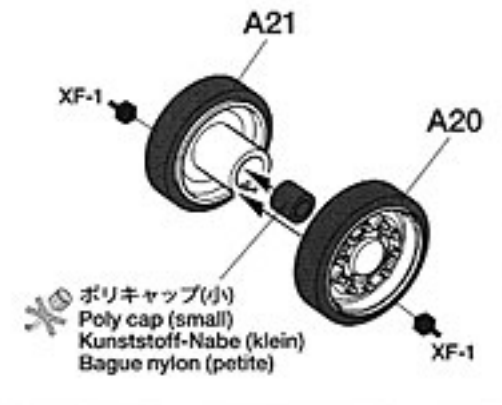
**6** 《サスペンション》  
Suspension  
Aufhängung  
Suspension

★6個作ります。  
★Make 6.  
★6 Satz anfertigen.  
★Faire 6 jeux.

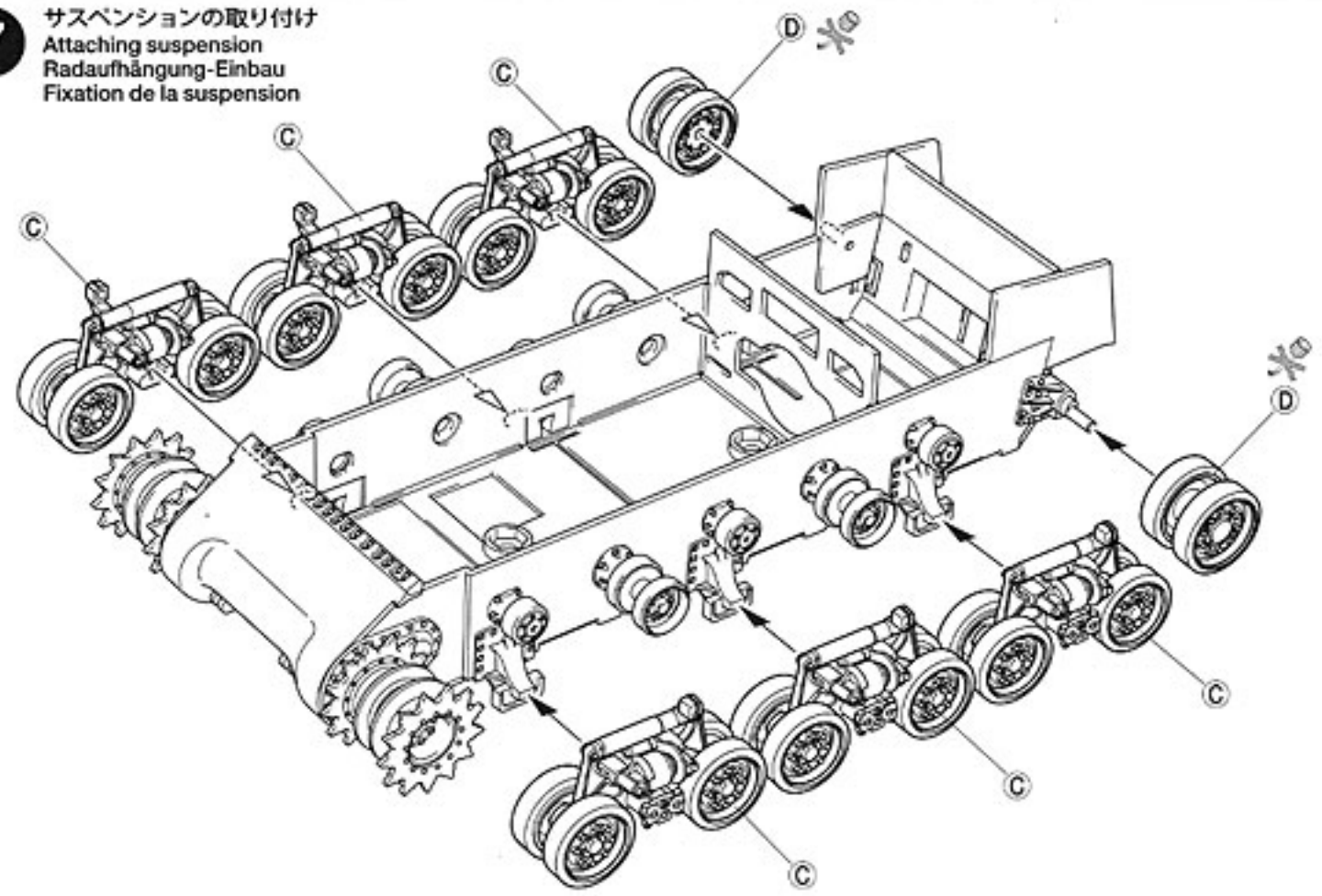


《アイドラーホイール》  
Idler wheel  
Spannrad  
Poulie-guide

★2個作ります。  
★Make 2.  
★2 Satz anfertigen.  
★Faire 2 jeux.

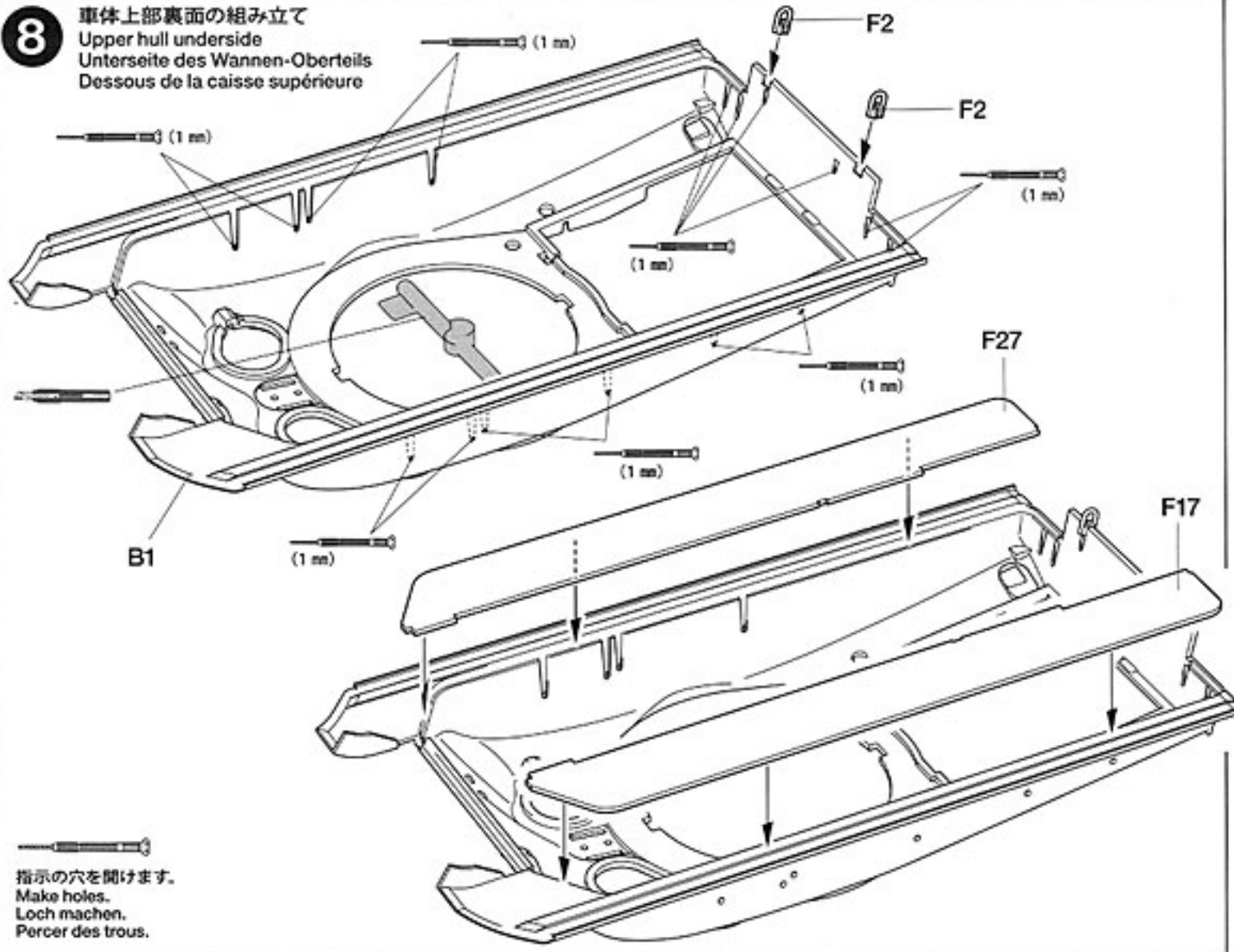


**7** サスペンションの取り付け  
Attaching suspension  
Radaufhängung-Einbau  
Fixation de la suspension





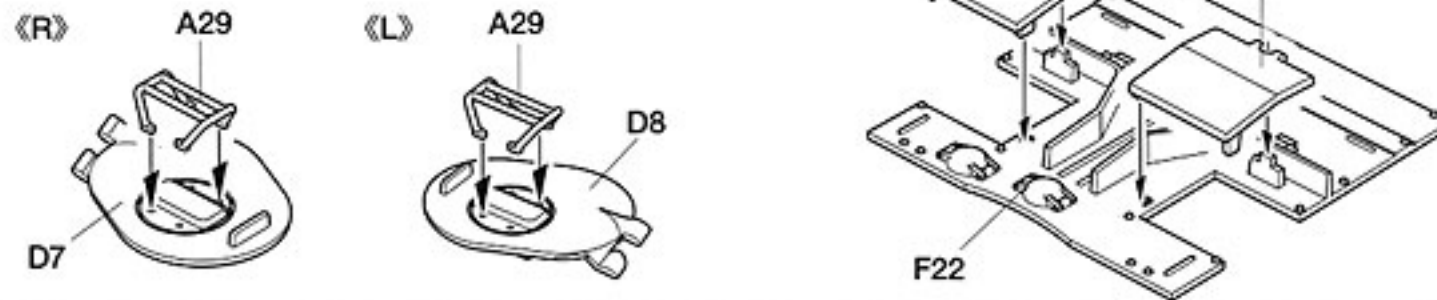
**8** 車体上部裏面の組み立て  
Upper hull underside  
Unterseite des Wannen-Oberteils  
Dessous de la caisse supérieure



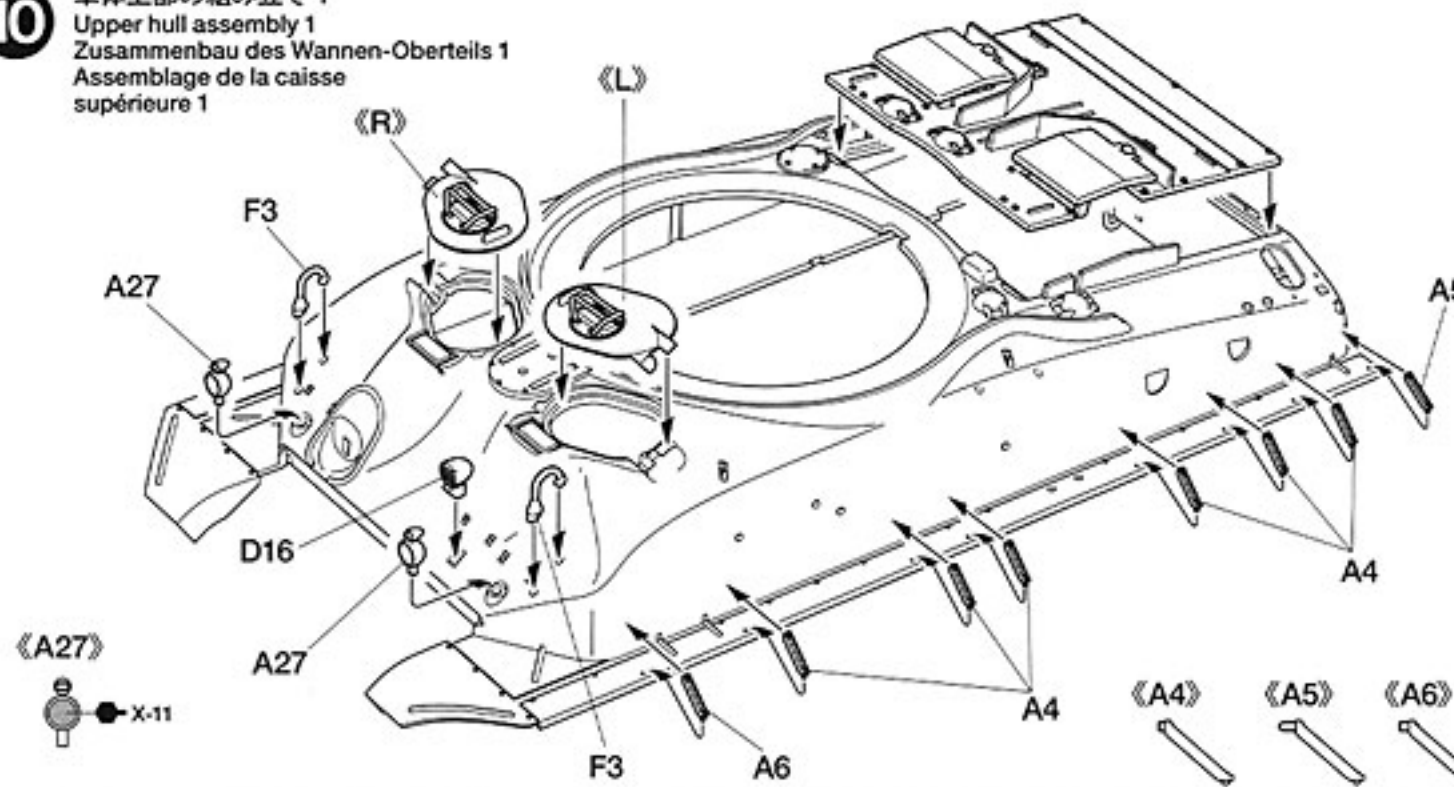
指示の穴を開けます。  
Make holes.  
Loch machen.  
Percer des trous.

**9** 《ハッチ》  
Hatch  
Luke  
Trappe

《エンジン点検パネル》  
Engine access hatch  
Motor-Einstiegluke  
Panneau d'accès moteur

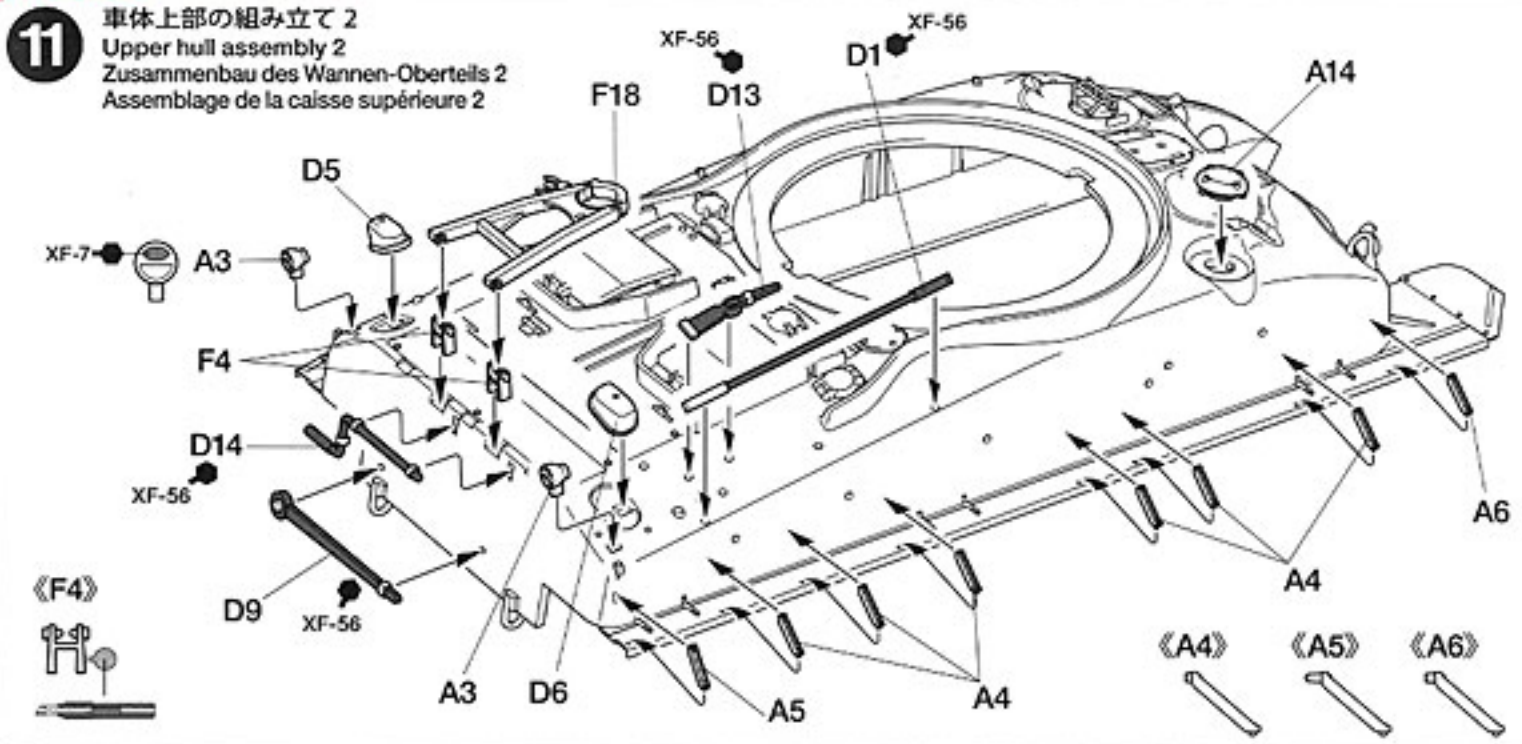


**10** 車体上部の組み立て 1  
Upper hull assembly 1  
Zusammenbau des Wannen-Oberteils 1  
Assemblage de la caisse supérieure 1

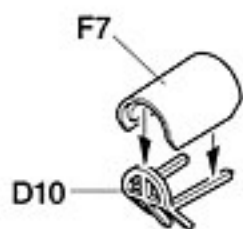




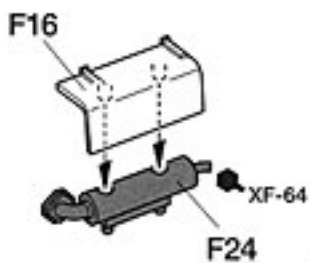
**11** 車体上部の組み立て 2  
Upper hull assembly 2  
Zusammenbau des Wannen-Obertells 2  
Assemblage de la caisse supérieure 2



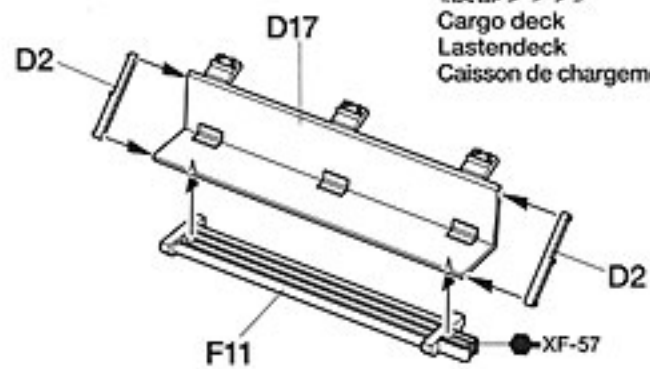
**12** 《ホーンカバー》  
Horn cover  
Abdeckung der Hupe  
Protection de klaxon



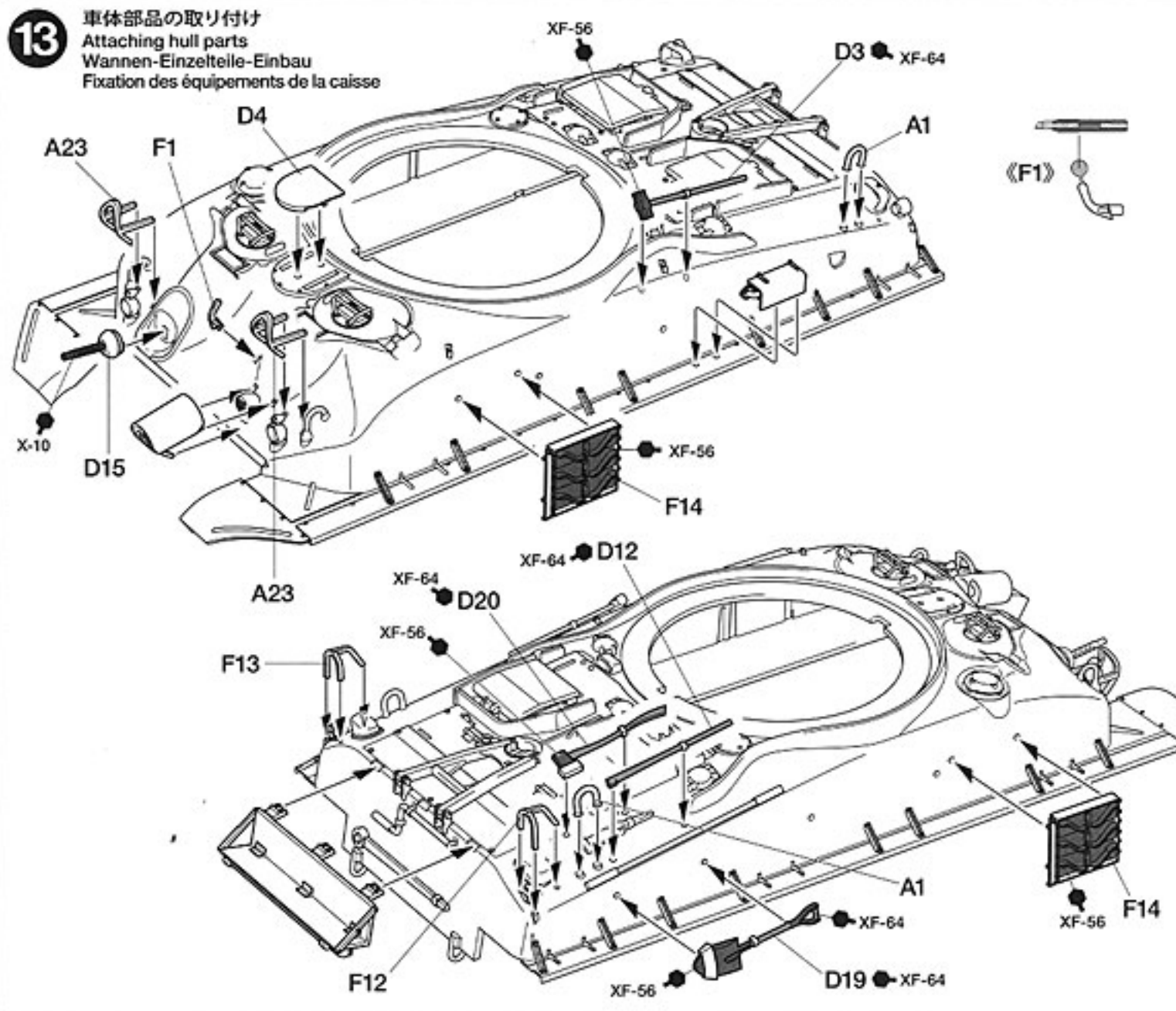
《補助発電機排気管》  
Exhaust  
Auspuff  
Echappement



《後部ラック》  
Cargo deck  
Lastendeck  
Caisson de chargement



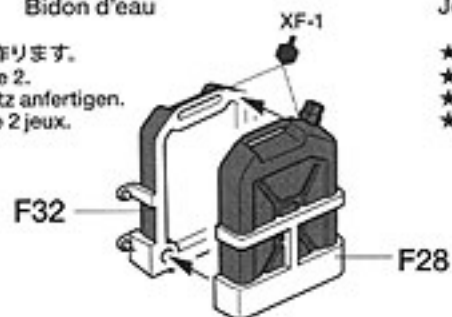
**13** 車体部品の取り付け  
Attaching hull parts  
Wannen-Einzelteile-Einbau  
Fixation des équipements de la caisse





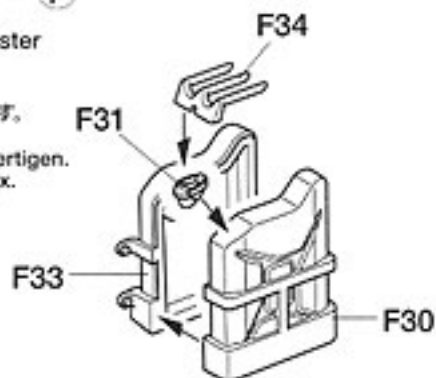
**14** 《水タンク》 E  
Water canister  
Wasser Kanister  
Bidon d'eau

★2個作ります。  
★Make 2.  
★2 Satz anfertigen.  
★Faire 2 jeux.



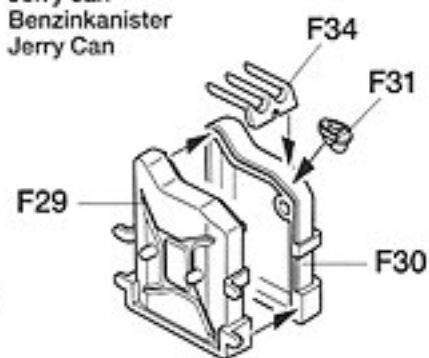
**F** 《ジェリカン》 F  
Jerry can  
Benzinkanister  
Jerry Can

★4個作ります。  
★Make 4.  
★4 Satz anfertigen.  
★Faire 4 jeux.

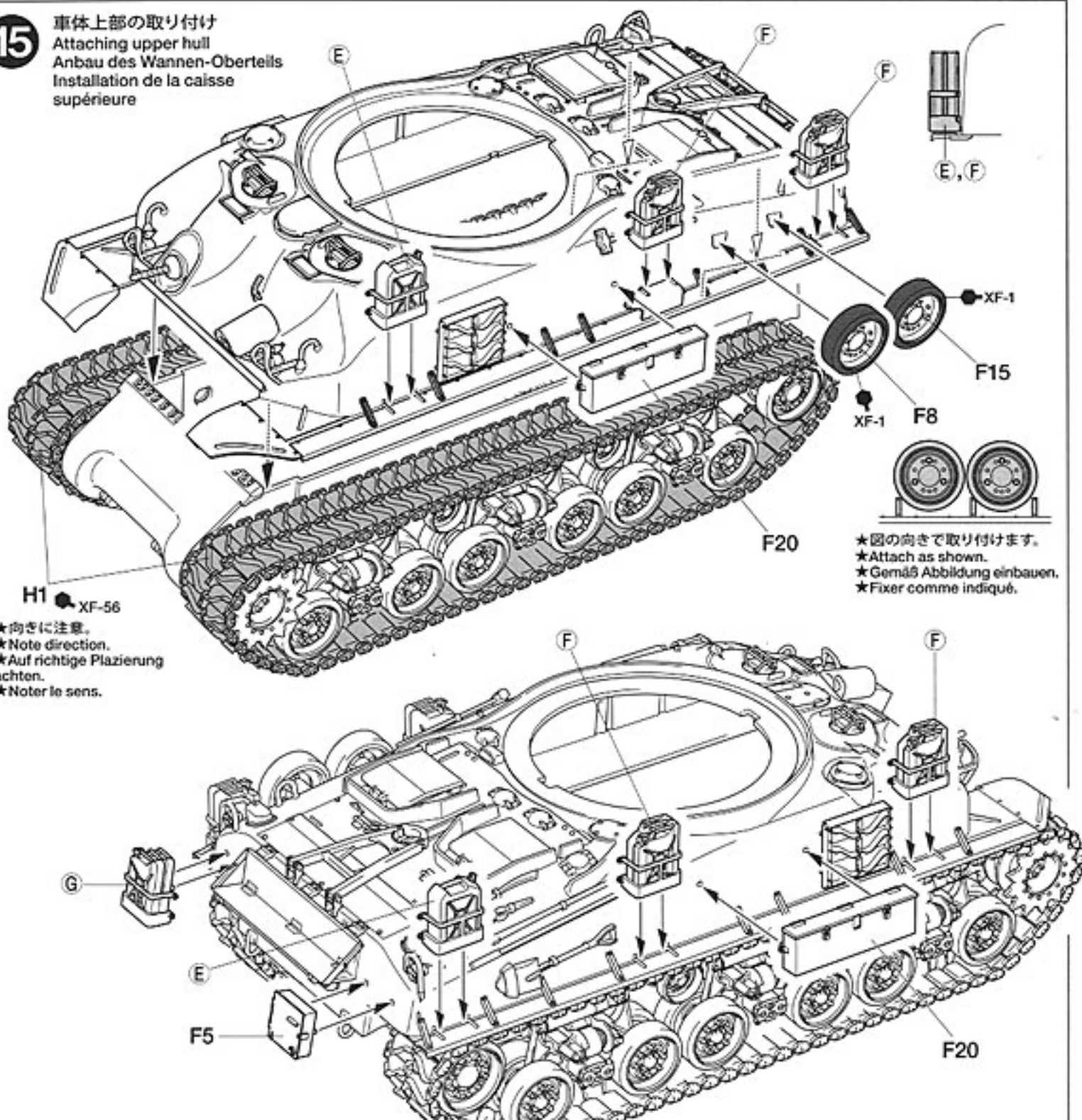


**G** 《ジェリカン》 G  
Jerry can  
Benzinkanister  
Jerry Can

★4個作ります。  
★Make 4.  
★4 Satz anfertigen.  
★Faire 4 jeux.



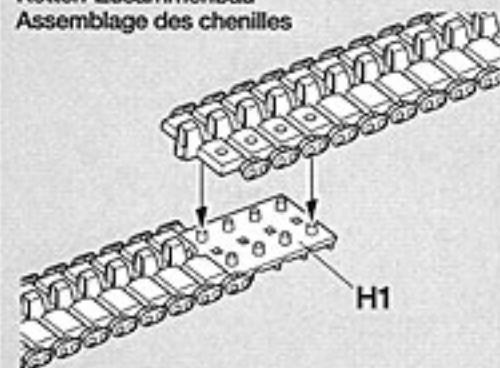
**15** 車体上部の取り付け  
Attaching upper hull  
Anbau des Wannen-Obertells  
Installation de la caisse supérieure



H1 ●XF-56  
★向きに注意。  
★Note direction.  
★Auf richtige Platzierung achten.  
★Noter le sens.

★図の向きで取り付けます。  
★Attach as shown.  
★Gemäß Abbildung einbauen.  
★Fixer comme indiqué.

《履帯の組み立て》  
Track construction  
Ketten-Zusammenbau  
Assemblage des chenilles

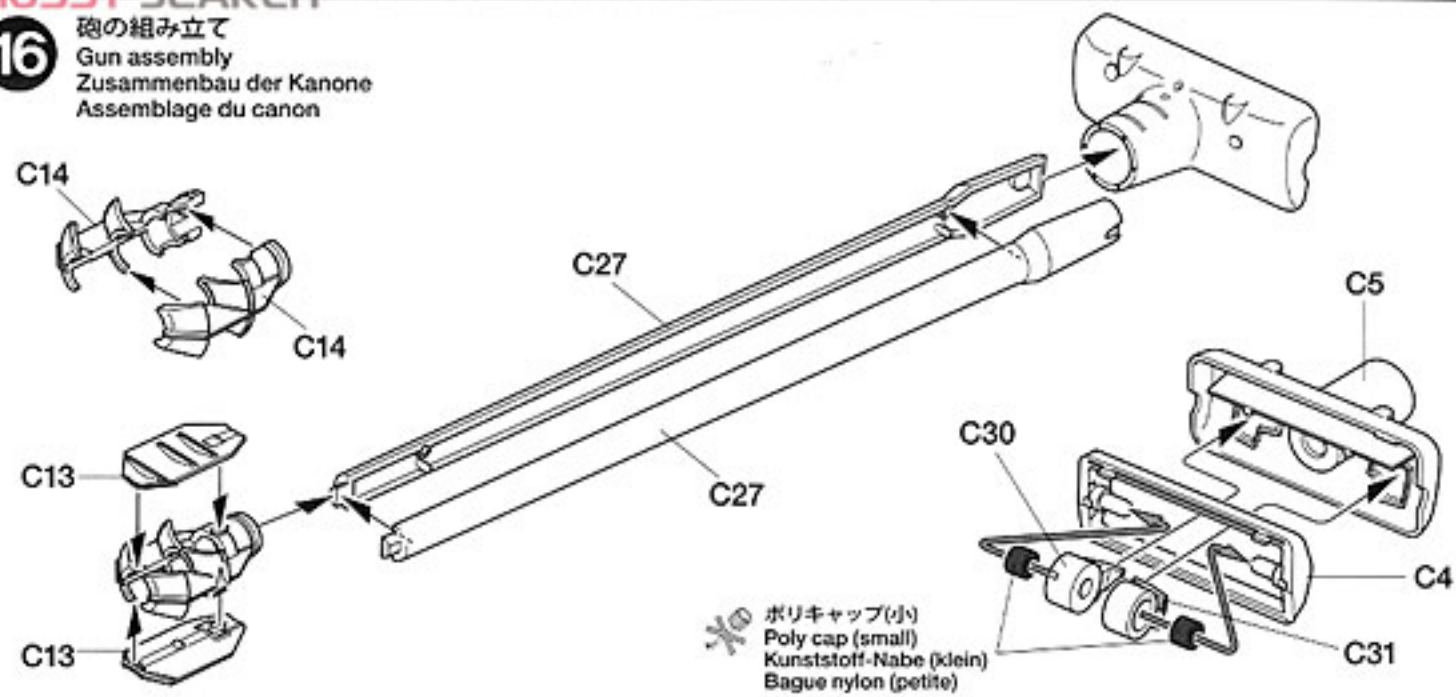


●接着剤が他の部分につかないように履帯の端を図のようにはめ込み、接着します。このとき、接合部がはがれやすいのでしっかり接着してください。  
●履帯の接着剤がかわくまで車体下部に取り付けしないでください。また履帯が切れてしまった時は黒糸やホッチキスなどで補強してください。  
●この履帯は塗装ができます。  
●The tracks in this kit can be glued using plastic cement.  
●Attach track to hull after cement has completely cured. If track breaks, join with staples or thread.  
●The tracks can be painted using plastic

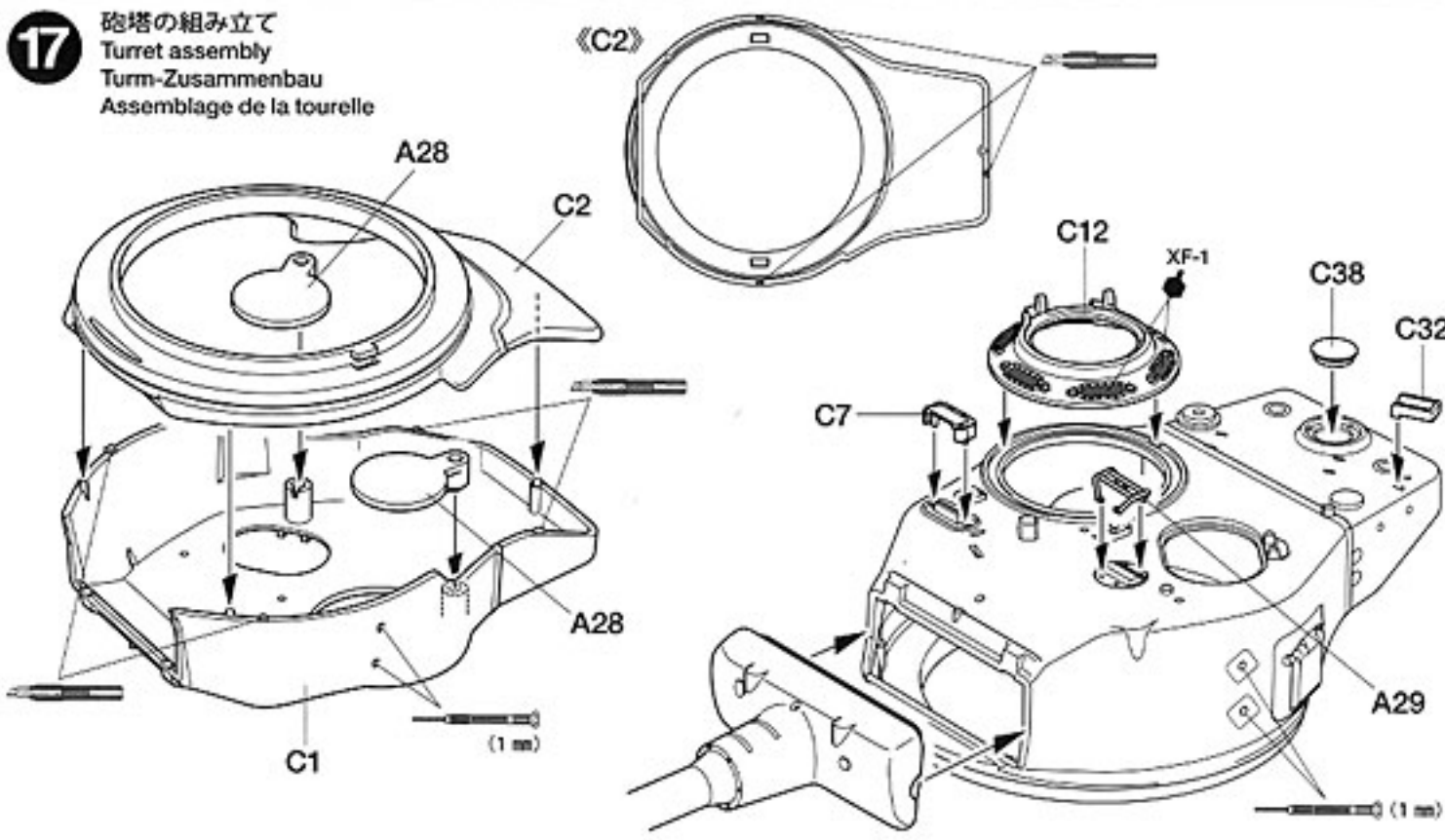
paints.  
●Die Ketten dieses Bausatzes mit Plastik-Kleber zusammenkleben.  
●Wenn der Kleber ausgetrocknet ist, Ketten auf Wanne aufziehen. Falls Kette reißt, mit Draht oder Faden zusammenhalten.  
●Die Ketten-Teile können mit jeder Plastikfarbe bemalt werden.  
●Les chenilles de ce kit peuvent s'assembler à l'aide de colle pour maquettes plastique standard.  
●Après séchage installer les chenilles sur les trains de roulement. Si une chenille casse, on peut la réparer à l'aide d'une agrafe ou de fil.  
●La peinture des chenilles peut se réaliser à la peinture acrylique.



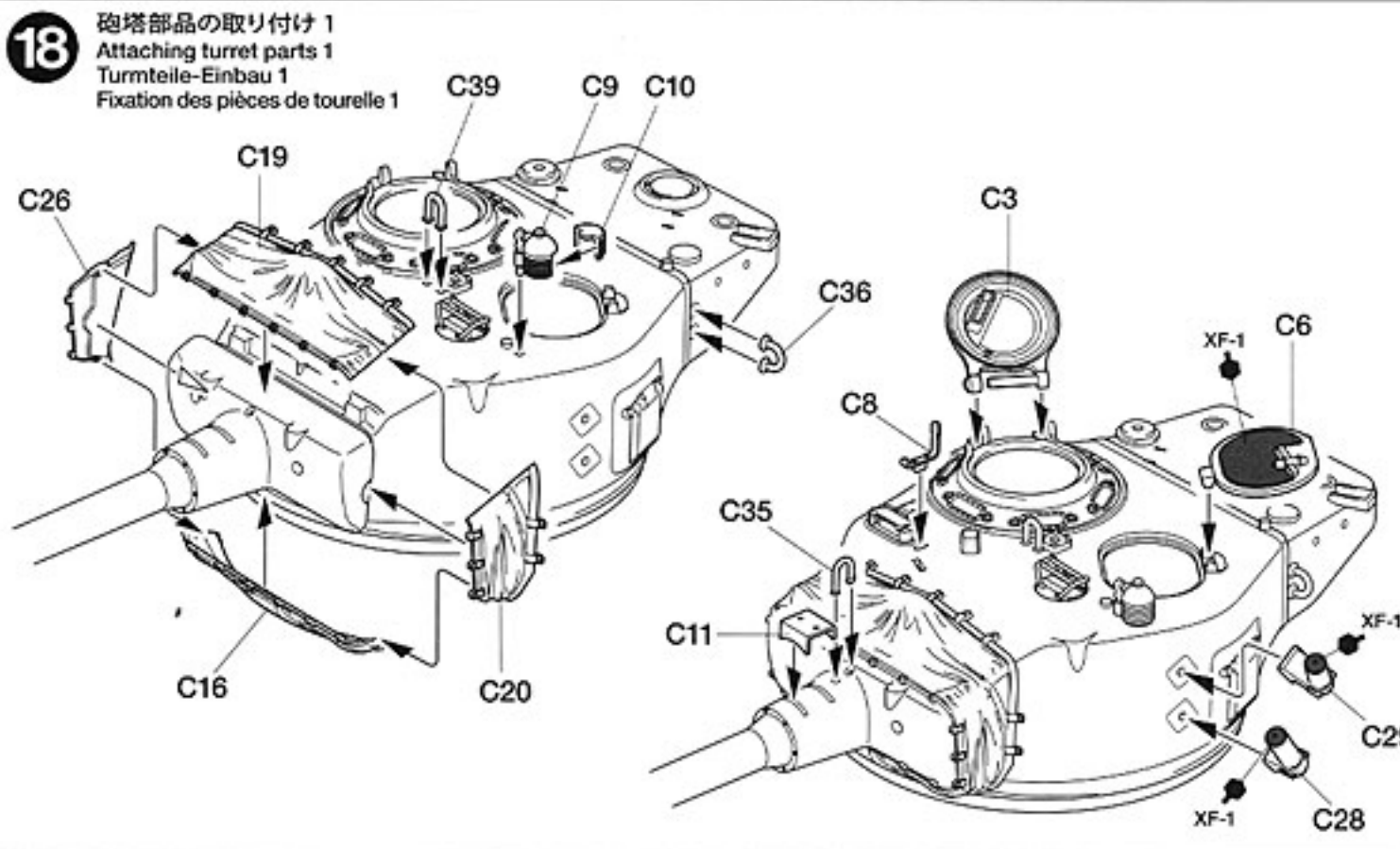
**16** 砲の組み立て  
Gun assembly  
Zusammenbau der Kanone  
Assemblage du canon



**17** 砲塔の組み立て  
Turret assembly  
Turm-Zusammenbau  
Assemblage de la tourelle



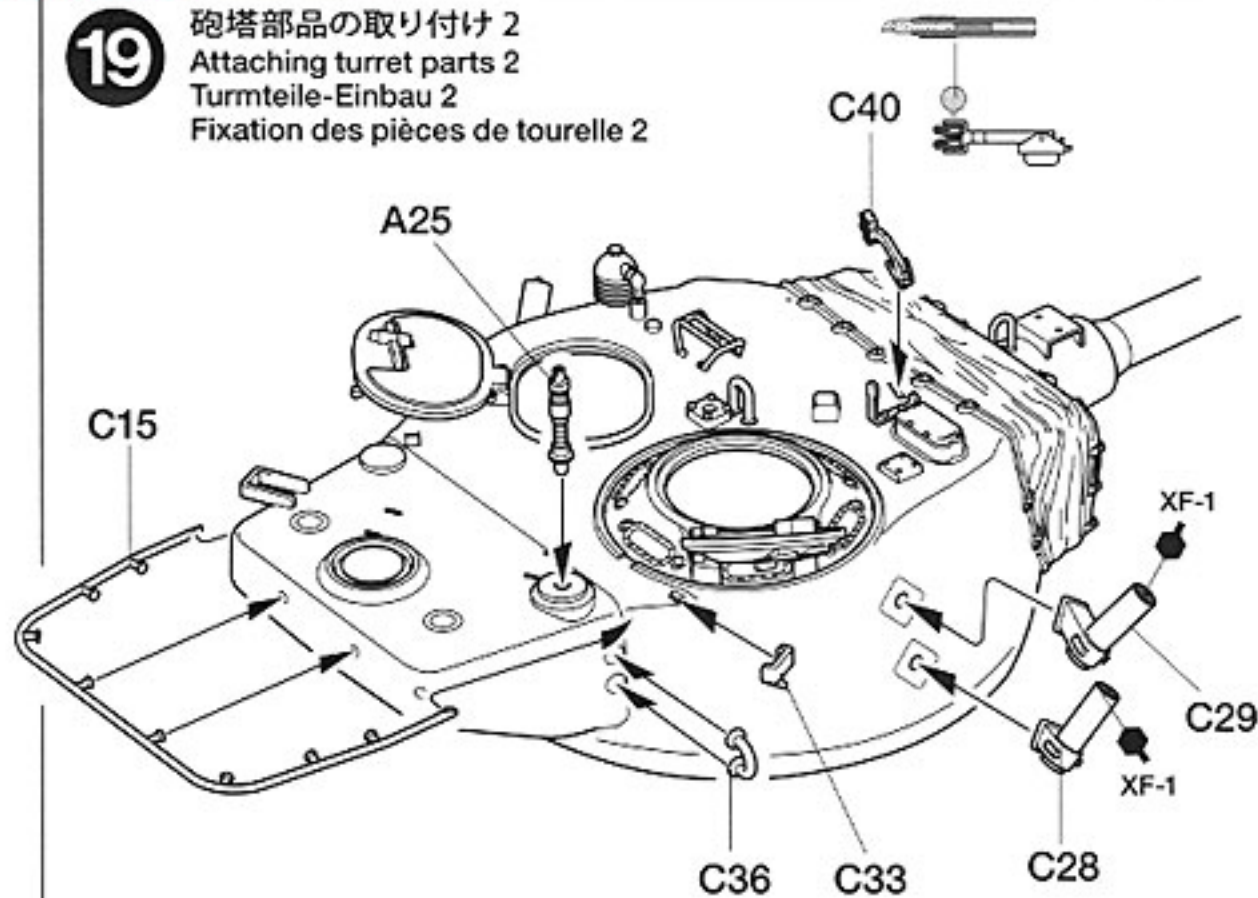
**18** 砲塔部品の取り付け 1  
Attaching turret parts 1  
Turnteile-Einbau 1  
Fixation des pièces de tourelle 1



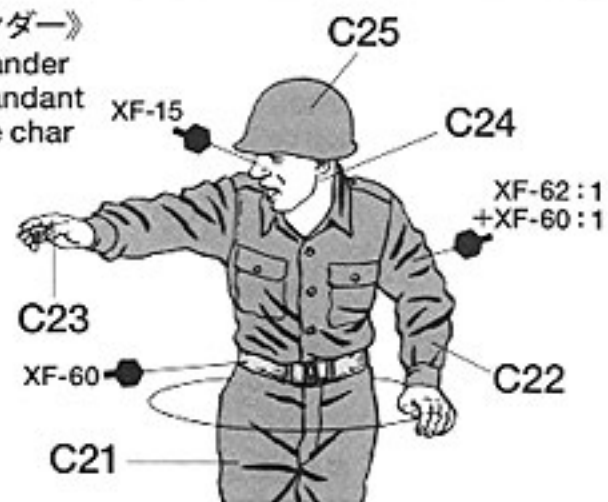


19

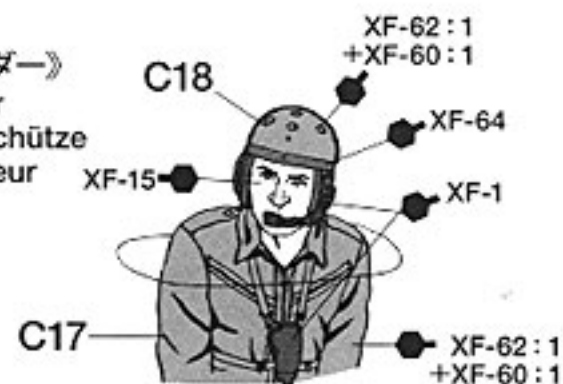
砲塔部品の取り付け 2  
Attaching turret parts 2  
Turnteile-Einbau 2  
Fixation des pièces de tourelle 2



《コマンダー》  
Commander  
Kommandant  
Chef de char

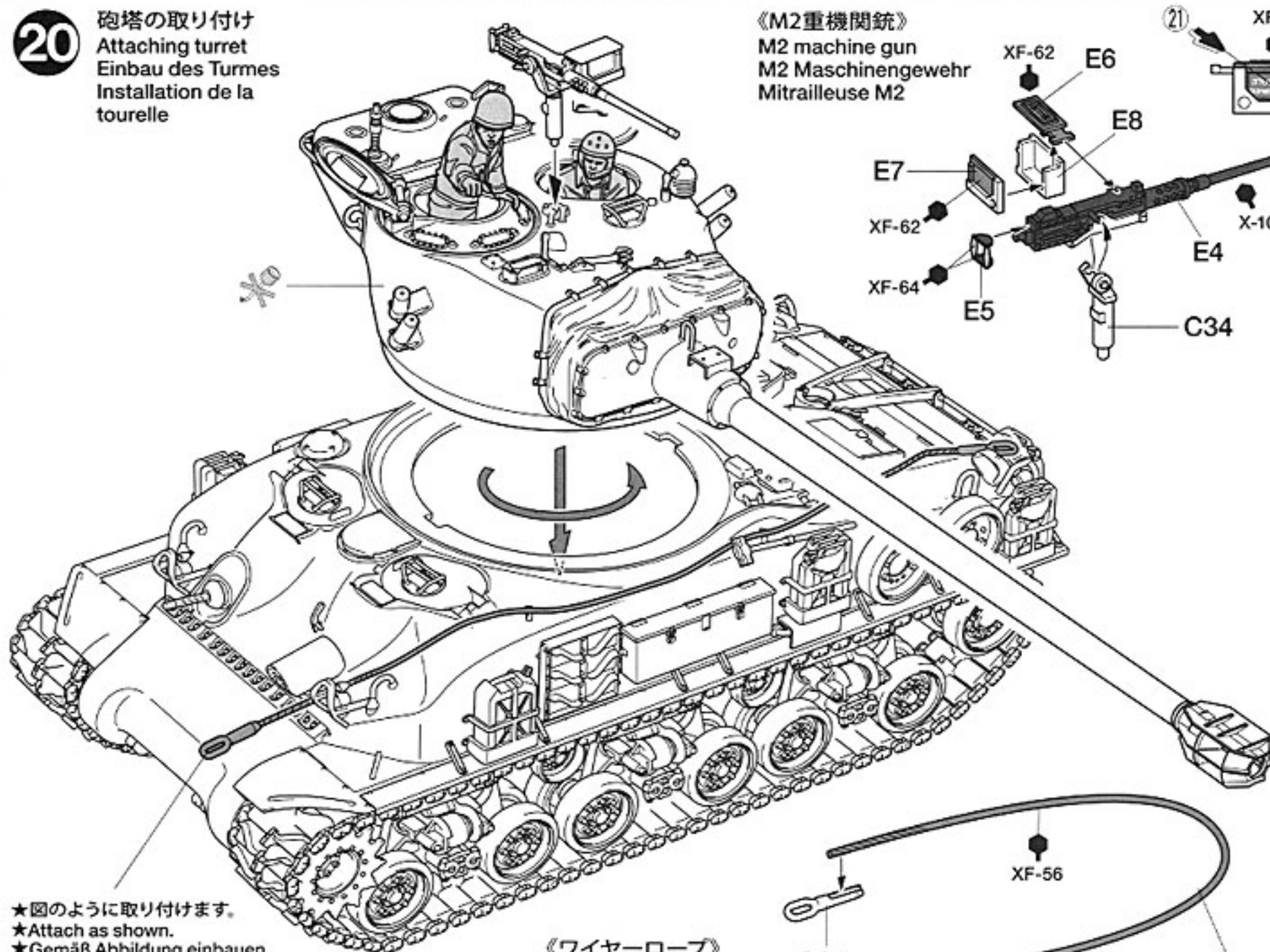


《ローダー》  
Loader  
Ladeschütze  
Chargeur



20

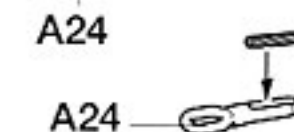
砲塔の取り付け  
Attaching turret  
Einbau des Turmes  
Installation de la tourelle



《M2重機関銃》  
M2 machine gun  
M2 Maschinengewehr  
Mitrailleuse M2

★図のように取り付けます。  
★Attach as shown.  
★Gemäß Abbildung einbauen.  
★Fixer comme indiqué.

《ワイヤーロープ》  
Tow cable  
Zugseil  
Câble de remorquage



★160mmにカットした紐。  
★String (160mm long)  
★Faden (160mm lang)  
★Ficelle (longueur 160mm)



**The IDF's First Mainstay Tank**

The Israeli Defense Forces (IDF) was founded twelve days after Israel's declaration of independence. Though its initial arsenal consisted of only infantry weapons, it eventually chose the M4 Sherman as its first standard tank. The Sherman offered a good combination of firepower, armor protection, mobility, and mechanical reliability, and since 50,000 examples had been produced during WWII, many tanks and spare parts were available as surplus or scrap during the post-war years. By the late-1950s, the IDF had purchased about 250 M4A1 and M4A3 Shermans from France. These were armed with the 76mm M1A1/A2 gun and were designated as M1 Super Shermans. At the same time, the IDF independently developed the M50, a Sherman variant armed with the powerful CN-75-50 75mm gun from the French AMX-13 light tank.

**The M51 and Its Features**

Following the Suez Crisis, the Arab nations acquired more powerful JS-3 and T-54/55 tanks and in response, the IDF further improved the Sherman's firepower in the early-1960s to create the M51. Late-production M4A1s with cast hulls as well as a few M4A3s with welded hulls were selected for this upgrade. The new armament was the D1504 L/44 gun, a 1.5m shorter version of the CN-105-F1 105mm gun that was developed for the French



■ M51

AMX-30 main battle tank and equipped with a massive muzzle brake. The shortened barrel reduced muzzle velocity by 800m/s but it was still able to penetrate 360mm of armor at up to 4,000m when firing HEAT (High Explosive Anti-Tank) ammunition. The gun featured a new trunnion and mantlet and a large counter-

weight was fitted to the T23 turret to offset the long barrel. HVSS (Horizontal Volute Spring Suspension) with wide T80 tracks were used and most examples were powered by 460hp Cummins VT8 diesel engines.

**The Six-Day War and Yom Kippur War**

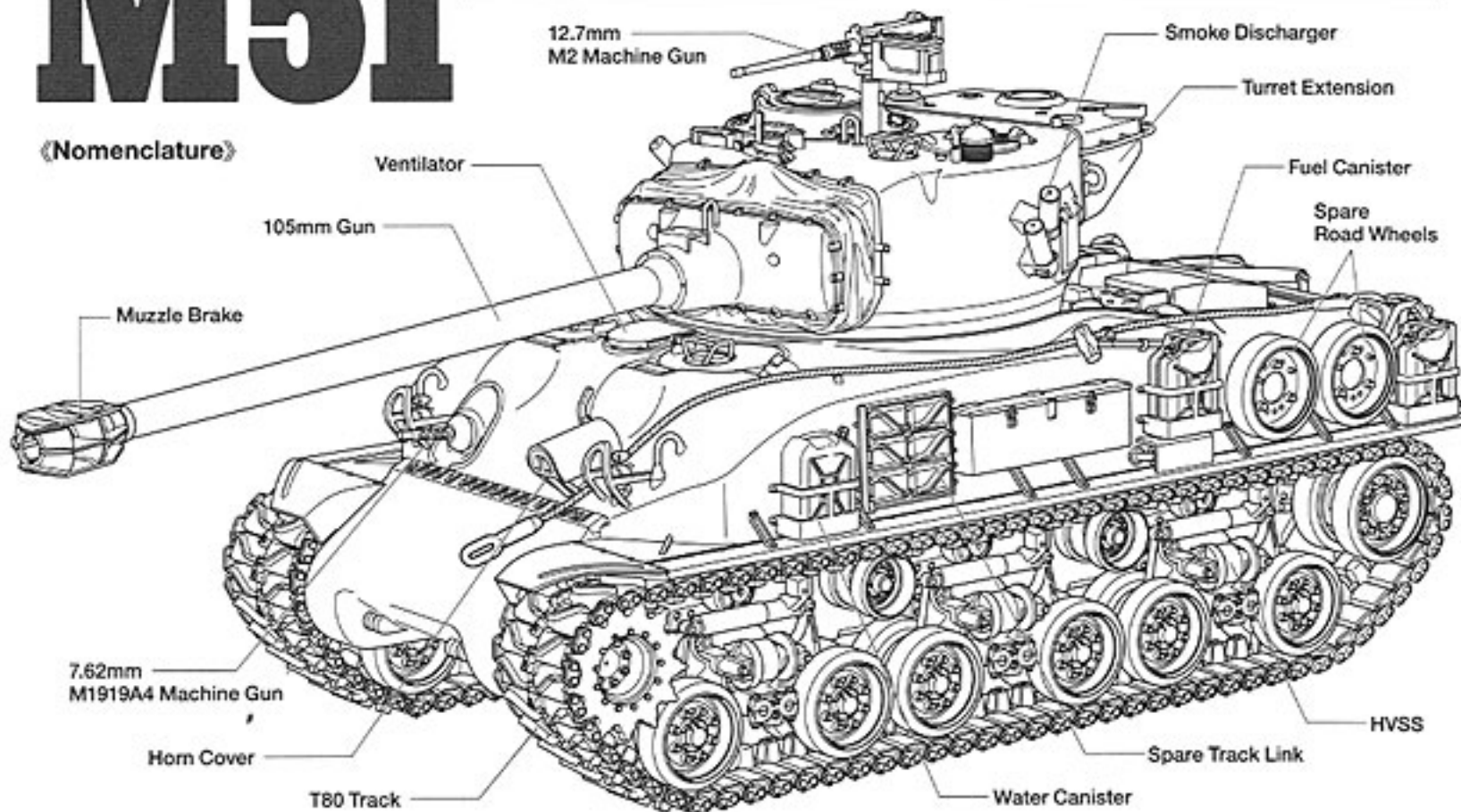
The first M51 was delivered in July 1962 and 180 had been modified by the mid-1960s. By this time the IDF possessed Centurions and M48 Pattons, but the M51s serve alongside these newer tanks during the Six-Day War in June 1967 and were deployed mainly with the Aviram, Zippori, and 10th Armored Brigades. In particular, the 14th (Zippori) Brigade, which was part of General Sharon's armored division, saw extensive action in the Sinai Peninsula. When hostilities began on June 5th, the unit crushed the Egyptian 2nd Infantry Division's defenses and advanced 120km southwest to reach Nakhl after intense battles from Um-Katef to Abu-Ageila. M51s were present at the Golan Heights as well and were deployed in the northern flank during the offensive toward Quneitra. They also played an important role in the fierce fighting in the West Bank's Dothan Valley. M51s were again called into action during the 1973 Yom Kippur War. For example, the 9th Brigade's 595th Tank Battalion rushed to the Golan Heights immediately when the war began and pushed back Syrian armored units. In another noteworthy battle during the advance toward Damascus, General Laner arrayed his four armored brigades, one of which included M51s, in a horseshoe formation and decimated an Iraqi Army armored force.

Despite having served with great distinction in these conflicts, the Sherman's WWII design was showing its age and the IDF retired them in 1980, with most of them being sold to Chile. However, the experience gained from the development of the M51 helped lead to later tank modification programs as well as the creation of the IDF's home-grown Merkava main battle tank.

**M51 Specifications**

- Length : 6,198mm ● Width : 2,997mm ● Height : 3,023mm
- Fully-Loaded Weight : 39 tons ● Crew : 4-5
- Engine : Cummins VT8-460-B1 4-stroke V8 diesel
- Output : 460hp ● Maximum Speed : 45km/h
- Range : 270km
- Armament : 105mm D1504 L/44 gun x1, 12.7mm M2 machine gun x1, 7.62mm M1919A4 machine gun x2
- Hull Armor : 64mm (Front Upper), 108-51mm (Front Lower), 38mm (Side/Rear), 19mm (Top) 25-13mm (Bottom)
- Turret Armor : 89mm (Mantlet), 64mm (Front/Side/Rear), 25mm (Top)

**ISRAELI TANK**  
**M51**





**Der erste Kampfpanzer der Israelitischen Streitkräfte**

Die israelitischen Verteidigungskräfte (IDF) wurden zwölf Tage nach der Unabhängigkeitserklärung gegründet. Obwohl die anfängliche Ausrüstung nur aus Infanteriewaffen bestand, wurde der M4 Sherman als Standardpanzer ausgewählt. Der Sherman bot eine gute Kombination aus Feuerkraft, Schutz, Beweglichkeit und Zuverlässigkeit und da im 2ten Weltkrieg über 50.000 Fahrzeuge gebaut wurden, waren in den Nachkriegsjahren viele Panzer und Ersatzteile im Überhang der Streitkräfte oder im Schrott verfügbar. In den späten 50er Jahren hatte die IDF etwa 250 M4A1 und M4A3 von Frankreich gekauft. Sie waren mit der 76mm M1A1/A2 Kanone ausgestattet und erhielten die Bezeichnung M1 Super Sherman. Zur gleichen Zeit entwickelte die IDF unabhängig davon den M50, eine Variante des Sherman mit der starken CN-75-50 Kanone des französischen AMX13 Leichtpanzers.

**Der M51 und seine Besonderheiten**

Nach der Suez-Krise erwarben die Arabischen Staaten stärkere JS-3 und T-54/55 Panzer und als Antwort darauf verbesserte die IDF die Feuerkraft ihrer Shermans in den frühen 60er Jahren und bauten den M51.

M4A1 mit Gusswannen und M4A3 mit geschweißten Wannan wurden für diesen Umbau verwendet. Die neue Bewaffnung war die D1504 L44 Kanone, eine 1,5m verkürzte Version der CN-F1 105mm Kanone, welche für den Französischen Kampfpanzer AMX 30 entwickelt worden war, mit einer massiven Mündungsbremse. Das verkürzte Rohr reduzierte die Mündungsgeschwindigkeit auf 800m/s, aber bei Verwendung der HEAT (High Explosive Anti Tank) Munition konnte eine 360mm starke Panzerung auf 4000m durchschlagen werden. Die Kanone hatte ein neues Schildzapfenlager und eine neue Rohrblende. Ein großes Gegengewicht am Turmheck des M23 Turmesglich das lange Rohr aus. Es wurde eine HVSS (Horizontal Volute Spring Suspension) Radaufhängung und eine breitere T80 Kette verwendet. Die meisten Panzer trugen den 460hp Cummins VT8 Dieselmotor.

**Der Sechs-Tage-Krieg und der Yom-Kippur-Krieg**

Der erste M51 wurde im Juli 1962 geliefert und in der Mitte der 60er Jahre waren 180 Panzer umgerüstet. In dieser Zeit besaß die IDF Centurion und M48 Patton aber die M51 taten ihren Dienst mit den neueren Panzern zusammen im Juni 1967 beim Sechs-Tage-Krieg. Sie waren hauptsächlich bei den Brigaden Aviram, Zippori und der 10ten mechanisierten Brigade eingesetzt.

Insbesondere die 14te Brigade (Zippori) die zur PanzerDivision von Gen. Sharon gehörte, erlebte heftige Gefechte auf der Halbinsel Sinai. Als die Feindseligkeiten am 5ten Juni begannen, zerschlug die Einheit die Verteidigung der Ägyptischen 2ten Infanteriedivision und stieß 120km Südwest vor und erreichte Nakhl nach intensiven Kämpfen von Um-Katef nach Abu-Ageila. Die M51 waren auf den Golan Höhen und wurden während der Offensive nach Quneitra an der Nordflanke eingesetzt. Sie spielten eine wichtige Rolle bei den heftigen Kämpfen im Dothan Tal der West Banks. 1973 wurden die M51 im Yom-Kippur Krieg aktiviert. Das Panzerbataillon 595 der 9ten Brigade verlegte unmittelbar nach Ausbruch des Krieges zu den Golan Höhen und schlug gepanzerte syrische Kräfte zurück. In einer anderen bemerkenswerten Schlacht während des Vormarsches auf Damaskus, stellte General Laner seine vier gepanzerten Brigaden, davon eine mit M51, in Hufeisenform auf und dezimierte die angreifenden Irakischen Kräfte.

Trotz einer erfolgreichen Nutzung in drei Konflikten, traten die altersbedingten Nachteile des Designs aus dem zweiten Weltkrieg mehr und mehr in den Vordergrund und die IDF stellte die M51 im Jahr 1980 außer Dienst, wobei die Meisten nach Chile verkauft wurden. Wie auch immer führten die Erfahrungen aus der Entwicklung des M51 zu weiteren Verbesserungsprogrammen und letztlich zu der Eigenentwicklung des Merkava Kampfpanzers.

■ T-55



**Le Premier Tank Standard des IDF**

Les Forces de Défense Israéliennes - Israeli Defense Forces (IDF), furent créées douze jours après la déclaration d'indépendance d'Israël. Dotée majoritairement à l'origine d'armes d'infanterie, elle s'équipa par la suite de chars M4 Sherman. Le Sherman offrait un bon compromis de puissance de feu, protection, mobilité et fiabilité mécanique. De plus, 50.000 exemplaires ayant été produits durant la 2<sup>ème</sup> G.M., beaucoup d'engins et pièces détachées étaient disponibles dans les surplus et cassés après le conflit. A la fin des années 1950, les IDF s'étaient procuré environ 250 M4A1 et M4A3 en France. Ils étaient armés du canon de 76mm M1A1/A2 et furent désignés M1 Super Sherman. Au même moment, les IDF développèrent indépendamment le M50, une variante du Sherman équipée du puissant canon de 75mm CN-75-50 du char léger français AMX-13.

**Le M51 et ses Caractéristiques**

Après la crise de Suez, les pays Arabes reçurent des blindés plus puissants JS-3 et T-54/55 et en réponse, au début des années 1960, les IDF augmentèrent encore la puissance de feu du Sherman avec le M51. Des M4A1 à caisse moulée de production tardive et quelques M4A3 à caisse soudée furent choisis pour cette amélioration. Le nouvel armement principal était le canon D1504 L/44, une version plus courte de 1,5m du CN-105-F1 105mm, développée pour le nouveau char français AMX-30 et équipé d'un gros frein de bouche. Le tube raccourci limitait la vitesse initiale à 800m/s mais une munition HEAT (High Explosive Anti-Tank) pouvait percer 360mm de blindage à 4.000m. L'embase et le masque du canon étaient nouveaux et un contrepoids massif était fixé à la nuque de la tourelle T23. Une suspension type HVSS (Horizontal Volute Spring Suspension) et des chenilles larges T80 étaient utilisées et la plupart des engins étaient propulsés par un moteur diesel Cummins VT8 de 460cv.

**Les Guerres des Six Jours et du Yom Kippur**

Le premier M51 fut livré en juillet 1962 et 180 avaient été modifiés au milieu des années 1960. A cette époque, les IDF possédaient des Centurions et M48 Patton mais les M51 servirent aux côtés de ces engins plus récents durant la Guerre des Six Jours en juin 1967. Ils étaient déployés au sein de la 10<sup>ème</sup> Brigade Blindée et les Brigades Aviram et Zippori. La 14<sup>ème</sup> Brigade (Zippori) faisant partie de la Division Blindée du Général Sharon, fut très active dans le Sinaï. Lorsque les hostilités débutèrent le 5 juin, elle enfonça les lignes défensives égyptiennes et avança de 120km au sud-ouest atteignant Nakhl après des combats violents

entre Um-Katef et Abu-Ageila. Des M51 étaient également engagés sur les Hauteurs du Golan et sur le flanc nord lors de l'offensive sur Quneitra. Ils jouèrent également un rôle important dans les rudes combats du flanc ouest de la Vallée du Dothan. Des M51 furent encore une fois utilisés au combat lors de la Guerre du Kippour de 1973. Par exemple, le 595<sup>ème</sup> Bataillon de la 9<sup>ème</sup> Brigade monta dès le début du conflit sur le Golan pour repousser les unités blindées Syriennes. Lors d'une autre bataille pendant l'avancée vers Damas, le Général Laner disposa en fer à cheval ses quatre brigades blindées, dont une équipée de M51, et décima une formation blindée Irakienne.

Après avoir servi avec distinction dans ces conflits, le Sherman dont la conception remontait à la 2<sup>ème</sup> G.M. montrait son âge et les IDF les retirèrent du service en 1980, la plupart étant vendus au Chili. L'expérience acquise avec le développement du M51 servit à d'autres programmes de modification et à la conception du char de bataille Merkava de conception entièrement Israélienne.



35323 M51 (11053538)

**Military Model Reservation Items**



**VTH6A1 Fire Support Veh...**  
AFV Clu...  
1/35  
7,650 yen



**Hurricane Mk I Trop (Plas...**  
Arma Hobb...  
1/72  
1,870 yen



**HMS Kelly 1940 Deluxe Ed...**  
Fly Hawk  
1/700  
6,715 yen



**Sukhoi Su-30S M`Flanker-...**  
Zvezda  
1/72  
2,890 yen



**Panther G Late Production ...**  
Takom  
1/35  
7,990 yen



**Panther G Mid Production w...**  
Takom  
1/35  
7,990 yen



**UF-1 Albatross (Plastic mo...**  
A Model  
1/144  
2,720 yen



**Soviet Medium Tank T-34/76...**  
Zvezda  
1/35  
2,890 yen



**HMS Norfolk `Battle of N...**  
Aoshima  
1/700  
Water Lin...  
3,230 yen



**Soviet Tank Destroyer SU-...**  
Zvezda  
1/35  
2,890 yen



